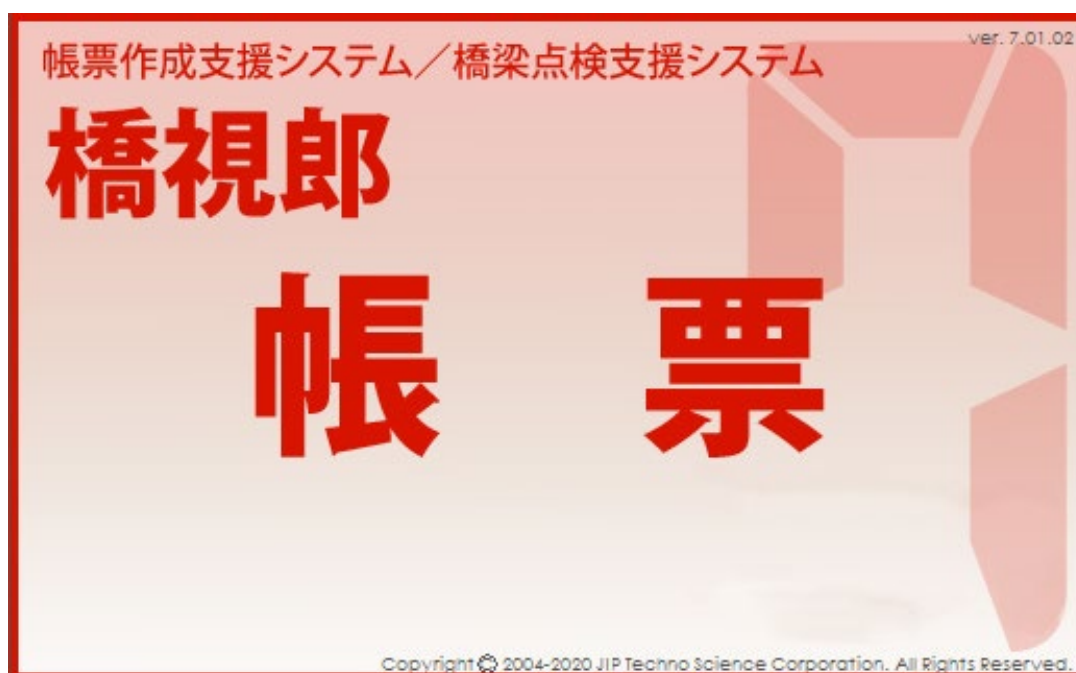


USER'S MANUAL



～ 橋梁点検支援システム～

－ 帳票作成支援システム －

JIPテクノサイエンス株式会社

## 目 次

1. プログラム概要.....	1
2. 動作環境.....	2
3. 特長.....	4
4. データフォルダについて.....	7
5. 詳細説明.....	8
5.1 画面構成.....	8
5.1.1 メニューウィンドウ .....	10
5.1.2 データウィンドウ .....	11
5.1.3 タイトルバー .....	11
5.1.4 メニューバー .....	11
5.1.5 ツールバー .....	11
5.2 メニュー説明.....	12
5.2.1 ファイルメニュー .....	12
5.2.2 編集メニュー .....	13
5.2.3 表示メニュー .....	14
5.2.4 設定メニュー .....	14
5.2.5 ウィンドウメニュー .....	16
5.2.6 ヘルプメニュー .....	16
5.3 画面説明（土木研究所 昭和 63 年版）.....	18
5.3.1 プロジェクト設定 .....	18
5.3.2 橋梁諸元（その 1） .....	20
5.3.3 橋梁諸元（その 2） .....	22
5.3.4 径間別一般図 .....	23
5.3.5 番号図 .....	24
5.3.6 損傷図 .....	25
5.3.7 損傷内容 .....	26
5.3.8 総括表 .....	27
5.3.9 点検結果（主部材） .....	28
5.3.10 点検結果（二次部材） .....	28
5.3.11 写真台帳 .....	28
5.3.12 損傷一覧 .....	29
5.3.13 損傷概要 .....	30
5.3.14 帳票出力 .....	31
5.4 画面説明（国土交通省 平成 16 年版）.....	32
5.4.1 プロジェクト設定 .....	32
5.4.2 橋梁諸元（その 1） .....	35
5.4.3 橋梁諸元（その 2） .....	37
5.4.4 一般図 .....	38
5.4.5 現地状況写真 .....	39
5.4.6 番号図 .....	44
5.4.7 損傷図 .....	45
5.4.8 損傷内容 .....	46

5.4.9 損傷写真	47
5.4.10 損傷程度評価（主部材）	49
5.4.11 損傷程度評価（二次部材）	50
5.4.12 損傷程度評価総括	51
5.4.13 主部材	53
5.4.14 二次部材	55
5.4.15 総合検査結果	56
5.4.16 措置図	57
5.4.17 措置内容	58
5.4.18 措置写真	59
5.4.19 措置判定区分（主部材）	60
5.4.20 措置判定区分（二次部材）	61
5.4.21 帳票出力	62
5.5 画面説明（国土交通省 平成 26 年版、平成 31 年 3 月版）	65
5.5.1 プロジェクト設定	65
5.5.2 橋梁諸元（その 1）	66
5.5.3 橋梁諸元（その 2）	68
5.5.4 一般図	69
5.5.5 現地状況写真	70
5.5.6 番号図	71
5.5.7 損傷図	72
5.5.8 損傷内容	73
5.5.9 損傷写真	74
5.5.10 損傷程度評価（主部材）	75
5.5.11 損傷程度評価（二次部材）	76
5.5.12 損傷程度評価総括	77
5.5.13 主部材	78
5.5.14 二次部材	80
5.5.15 健全性の診断に関する所見（平成 31 年 3 月版のみの機能）	81
5.5.16 状態把握の方法（平成 31 年 3 月版のみの機能）	84
5.5.17 総合検査結果	86
5.5.18 措置図	88
5.5.19 措置内容	89
5.5.20 措置写真	90
5.5.21 措置判定区分（主部材）	91
5.5.22 措置判定区分（二次部材）	92
5.5.23 帳票出力	93
6. その他共通事項	95
6.1 表入力機能	95
6.2 画像ファイルの登録方法	97
6.2.1 ファイル選択ダイアログから登録する方法	97
6.2.2 マウスの右クリックから登録する方法	98
6.2.3 ドラッグ&ドロップで登録する方法	99
6.3 日付の登録について	102
6.3.1 表示形式を変更	102

6.3.2 カレンダーの使い方 .....	102
6.3.3 直接入力で登録 .....	103
6.3.4 今日へ移動 .....	103
6.4 画面上に表示される警告メッセージ・ボタンについて.....	104
6.4.1 登録する文字列のタブ文字について.....	104
6.4.2 ステータスバーの警告メッセージについて.....	105
7. サポート.....	106

---

■ 本文中で表記されている社名、商品名について

Pentium は Intel Corporation の登録商標であり Intel は同社の商標です。

Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Autodesk、AutoCAD、AutoCAD LT、DWG、DXF は、米国 Autodesk、Inc. の商標または登録商標です。

## 1. プログラム概要

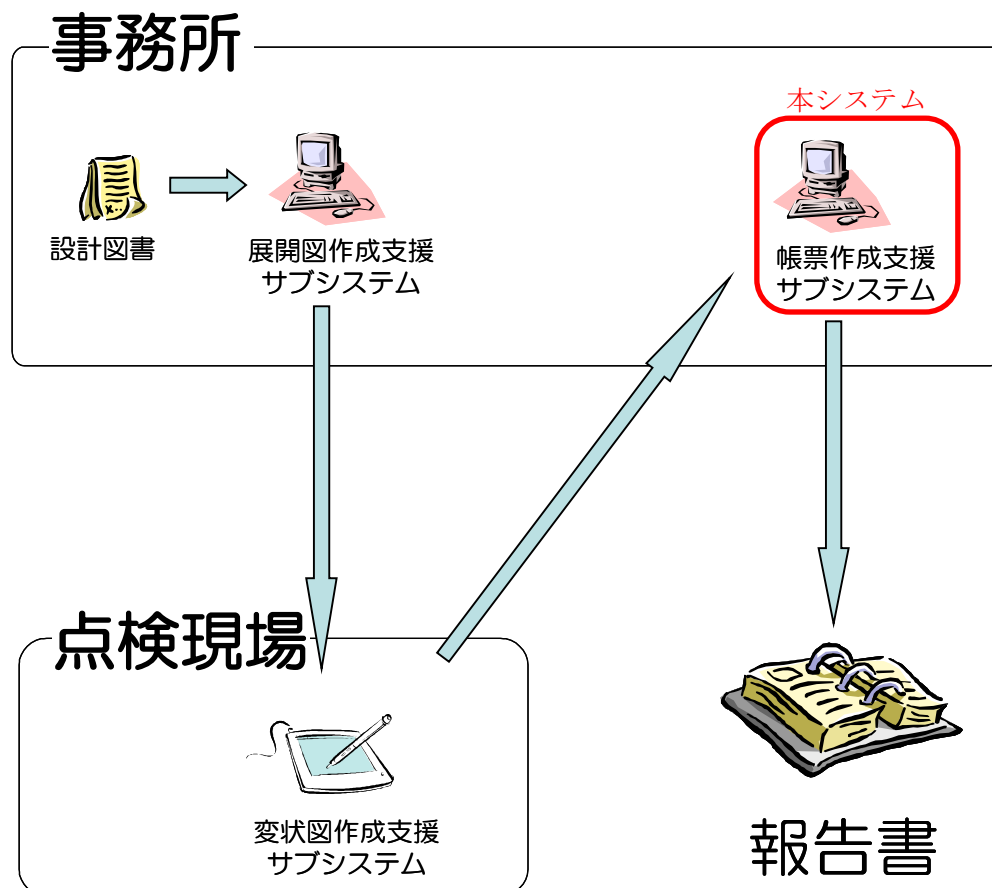
橋視郎（きょうしろう）は、橋梁の定期点検要領に沿った目視点検業務を支援するものです。点検前の展開図作成、点検中のデータの記録、点検作業後の整理を効率的に行うことができます。データの関連付けがされているため、入力ミスを減らし、スムーズに帳票を作成することができます。

Ver3.00 より、橋梁における第三者被害予防措置要領（案）＜国土交通省 平成 16 年＞（以下、第三者被害予防措置）に対応しています。第三者被害予防措置データ作成機能を利用するには、オプションライセンスの購入が必要です。

橋視郎の適用要領は以下の通りです。

「適用要領」

- 建設省土木研究所 橋梁点検要領（案） 昭和 63 年
- 国土交通省 橋梁定期点検要領（案） 平成 16 年
- 国土交通省 橋梁定期点検要領 平成 26 年
- 国土交通省 橋梁定期点検要領 平成 31 年 3 月
- 国土交通省 橋梁における第三者被害予防措置要領（案） 平成 16 年



\* 橋視郎では、指定した要領の名称や記号などを用いています。そのため、帳票などの記号などについては、要領をご覧ください。

## 2. 動作環境

## ■ 必要構成

- ◆ 基本ソフトとして、Microsoft の日本語版、Windows 10<sup>1</sup>が必要です。
- ◆ 帳票を出力するためには、Microsoft Excel (2016/2019) が必要です。<sup>2</sup>
- ◆ ハードディスクにインストールして使用するため、約 50Mbyte 以上の空き領域が必要です。

## ■ 第三者被害予防措置データ作成の利用制限

- ◆ オプションライセンスの購入が必要です。(オプションライセンスが無い場合、参照は可能、編集は不可能)
- ◆ 点検要領が【国土交通省 平成 16 年版】と【国土交通省 平成 26 年版】と【国土交通省 平成 31 年 3 月版】の時に利用できます。

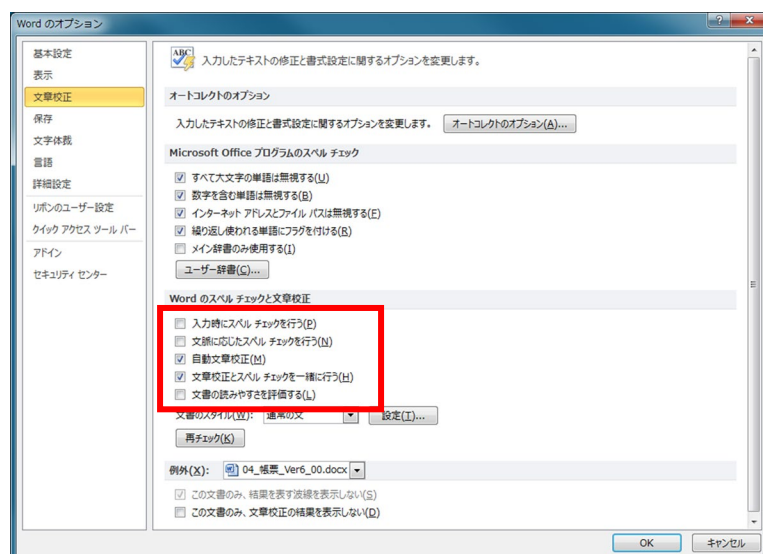
## ■ プログラム制限

項 目	制 限
主桁本数	2～20 本 (スラブ橋桁は 80 本)
径間数	50 径間 * 分割番号を設定した場合はその合計が 100 まで
パネル数	20 (径間内の分割数)
斜角	30～150 度

注  
意

Word 形式で帳票出力する場合は、出力前に Word の自動スペルチェック機能を使用しないでください。設定方法は以下の通りです。

[ファイル]-[オプション]を選択すると以下のダイアログが表示されます。「Word のスペルチェックと文書校正」の「スペルチェック」のスペルチェックに関するものはチェックを外してください。



<sup>1</sup> Windows 10 においては、以下のバージョンを使用して動作確認を実施しました。

バージョン：20H2

<sup>2</sup> Microsoft Excel は、32bit 版にのみ対応しています。





### 3. 特長

変状図作成支援システムで指定した点検要領に対して、点検要領および措置要領の標準フォーマットに応じた帳票を Microsoft Word 形式または Microsoft Excel 形式のファイルで出力できます。以下の帳票が作成できます。

- ◆ 建設省土木研究所 橋梁点検要領（案） 昭和 63 年
  - ◇ 点検調書その 1 橋梁点検結果 総括表
  - ◇ 点検調書その 2 損傷概要
  - ◇ 点検調書その 3 径間別点検結果（主部材）
  - ◇ 点検調書その 3 径間別点検結果（二次部材）
  - ◇ 点検調書その 4 一般図
  - ◇ 点検調書その 5 損傷図
  - ◇ 点検調書その 6 部材番号図
  - ◇ 点検調書その 7 損傷写真台帳
  - ◇ 点検調書その 8 損傷判定結果一覧表
  
- ◆ 国土交通省 橋梁定期点検要領（案） 平成 16 年 定期点検データ
  - ◇ 点検調書（その 1）橋梁の諸元と総合検査結果
  - ◇ 点検調書（その 2）径間別一般図
  - ◇ 点検調書（その 3）現地状況写真
  - ◇ 点検調書（その 4）要素番号図及び部材番号図
  - ◇ 点検調書（その 5）損傷図
  - ◇ 点検調書（その 6）損傷写真
  - ◇ 点検調書（その 7）損傷程度の評価記入表（主要部材）
  - ◇ 点検調書（その 8）損傷程度の評価記入表（点検調書（その 7）に記載以外の部材）
  - ◇ 点検調書（その 9）損傷程度の評価結果総括
  - ◇ 点検調書（その 10）対策区分判定結果（主要部材）
  - ◇ 点検調書（その 11）対策区分判定結果（点検調書（その 10）に記載以外の損傷）

- ◆ 国土交通省 橋梁定期点検要領（案） 平成 26 年 定期点検データ
  - ◇ 点検調書（その 1）橋梁の諸元と総合検査結果
  - ◇ 点検調書（その 2）径間別一般図
  - ◇ 点検調書（その 3）現地状況写真
  - ◇ 点検調書（その 4）要素番号図及び部材番号図
  - ◇ 点検調書（その 5）損傷図
  - ◇ 点検調書（その 6）損傷写真
  - ◇ 点検調書（その 7）損傷程度の評価記入表（主要部材）
  - ◇ 点検調書（その 8）損傷程度の評価記入表（点検調書（その 7）に記載以外の部材）
  - ◇ 点検調書（その 9）損傷程度の評価結果総括
  - ◇ 点検調書（その 10）対策区分判定結果（主要部材）
  - ◇ 点検調書（その 11）対策区分判定結果（点検調書（その 10）に記載以外の損傷）
  
- ◆ 国土交通省 橋梁定期点検要領 平成 31 年 定期点検データ
  - ◇ 定期点検記録様式（その 1） 橋梁の諸元と総合検査結果
  - ◇ 定期点検記録様式（その 2） 径間別一般図
  - ◇ 定期点検記録様式（その 3） 現地状況写真
  - ◇ 定期点検記録様式（その 4） 部材番号図及び要素番号図
  - ◇ 定期点検記録様式（その 5） 状態把握の方法
  - ◇ 定期点検記録様式（その 6） 橋の健全性の診断に関する所見
  - ◇ 定期点検記録様式（その 7） 対策区分判定結果（主要部材）
  - ◇ 定期点検記録様式（その 8） 対策区分判定結果（様式（その 7）に記載以外の部材）
  - ◇ データ記録様式（その 9） 損傷図
  - ◇ データ記録様式（その 10） 損傷写真
  - ◇ データ記録様式（その 11） 損傷程度の評価記入表（主要部材）
  - ◇ データ記録様式（その 12） 損傷程度の評価記入表（データ記録様式（その 11）に記載以外の部材）
  - ◇ データ記録様式（その 13） 損傷程度の評価結果総括

- ◆ 国土交通省 橋梁定期点検要領（案） 平成 16 年 第三者被害予防措置データ
  - ◇ 点検調書（その 1）橋梁の諸元と総合検査結果
  - ◇ 点検調書（その 2）径間別一般図
  - ◇ 点検調書（その 3）現地状況写真
  - ◇ 点検調書（その 4）要素番号図及び部材番号図
  - ◇ 点検調書（その 5）損傷図
  - ◇ 点検調書（その 6）損傷写真
  - ◇ 点検調書（その 7）損傷程度の評価記入表（主要部材）
  - ◇ 点検調書（その 8）損傷程度の評価記入表（点検調書（その 7）に記載以外の部材）

＊ その 1～4 は定期点検データと同じ内容

#### 補足

##### ◆ 出力可能な要領

変状図作成支援システムで指定した点検要領によって、出力可能な帳票が異なります。出力可能な要領は以下の通りです。

変状図作成支援システムで 指定した点検要領	帳票作成支援システムで 出力可能な帳票	
	点検要領	措置要領
土木研究所 点検要領 S63	S63	—
国土交通省 点検要領 H16	H16	H16
国土交通省 点検要領 H26	H26	H16
国土交通省 点検要領 H31	H31	H16

##### ◆ 出力可能な形式

点検要領および措置要領によって、出力可能な形式が異なります。出力可能な形式は以下の通りです。
























点検要領	Word 形式	Excel 形式
土木研究所 点検要領 S63	○	—
国土交通省 点検要領 H16	○	○
国土交通省 点検要領 H26	—	○
国土交通省 点検要領 H31	—	○
国土交通省 措置要領 H16	—	○

## 4. データフォルダについて

本システムで取り扱うファイルの保管場所について説明します。本システムでは、一般図や現地状況写真などを登録する機能があります。また、作成した帳票を Word 形式または Excel 形式で出力することができます。

それらのファイルの格納先は以下の通りです。

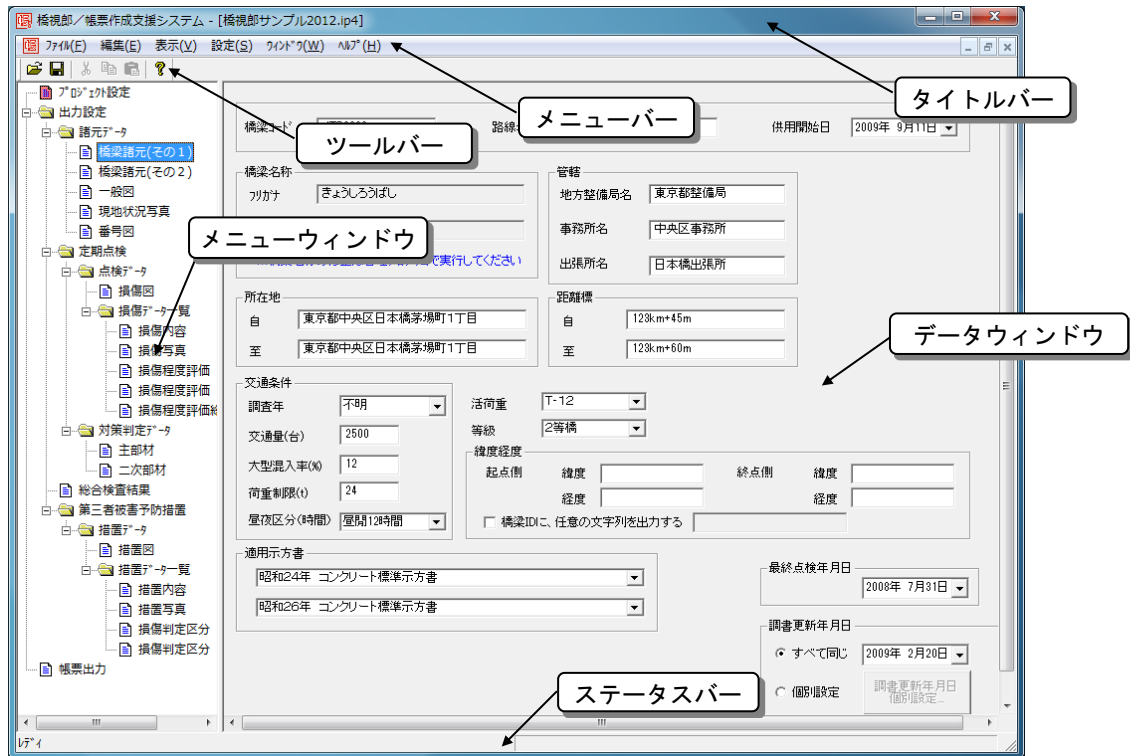
例) プロジェクト名称：橋視郎サンプル 2012 の場合

データフォルダ構成			備考
 橋視郎サンプル 2012			
└	 2012_点検		Ver2.08 より変更しています。
	└	 その他	
	└	 現地状況写真	現地状況写真を保管します。
	└	 写真	損傷写真を保管します。
	└	 帳票	定期点検の帳票ファイルが出力されます。
	└	 変状図	変状図面 (DXF/JPG) が出力されます。
	└	 第三者被害	第三者被害予防措置データを作成するとこれ以下のフォルダが作成されます。
		└  その他	
		└  写真	措置写真を保管します。
		└  帳票	第三者被害の帳票ファイルが出力されます。
		└  変状図	措置図面 (DXF/JPG) が出力されます。
└	 CSV		登録した情報の CSV 形式のファイルが出力されます。
└	 XML		
└	 一般図		一般図を保管します。
└	 全体図		全体図を保管します。
└	 展開図		展開図 (DXF/JPG) が出力されます。また外部ファイル読込する場合は図面をここに保管します。
└	 番号図		番号図 (DXF/JPG) が出力されます。また外部ファイル読込する場合は図面をここに保管します。
└	 詳細図		詳細図を保管します。 Ver4.00 より追加しています。
└	 Trace		トレース用画像ファイルを保管します。 Ver5.00 より追加しています。
└	 橋視郎サンプル 2012. ip1		
└	 橋視郎サンプル 2012. ip2		
└	 橋視郎サンプル 2012. ip4		

## 5. 詳細説明

### 5.1 画面構成

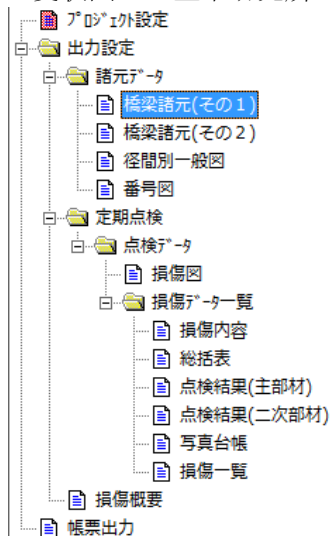
画面構成は以下の通りです。



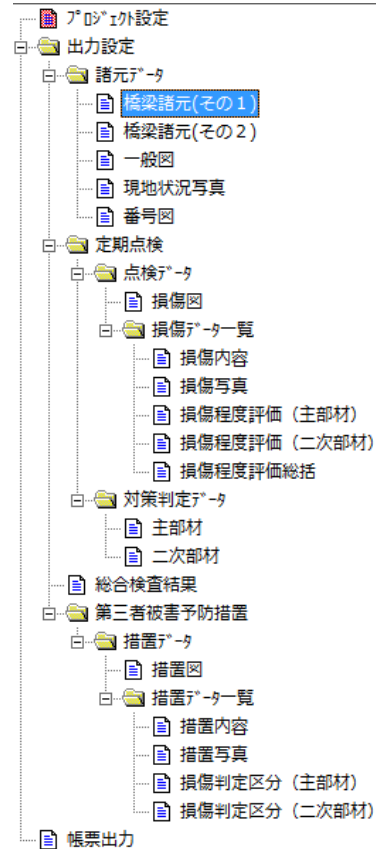
F6 キーで「メニューウィンドウ」と「データウィンドウ」のフォーカスを移動することができます。

選択した点検要領によって、ツリー構成が変わります。

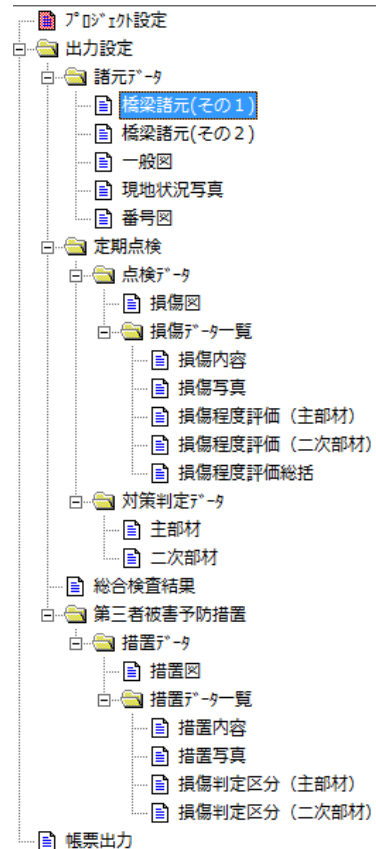
#### ■ 変状図で「土木研究所 昭和 63 年版」を選択した場合



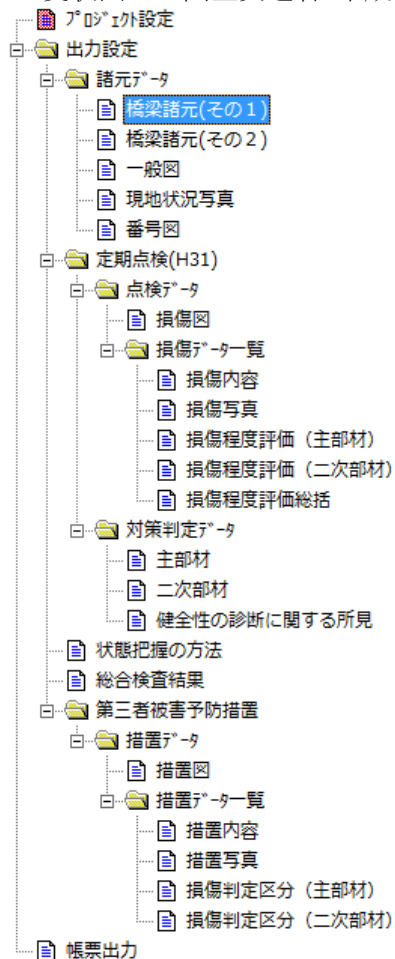
■ 変状図で「国土交通省 平成 16 年版」を選択した場合







■ 変状図で「国土交通省 平成 26 年版」を選択した場合

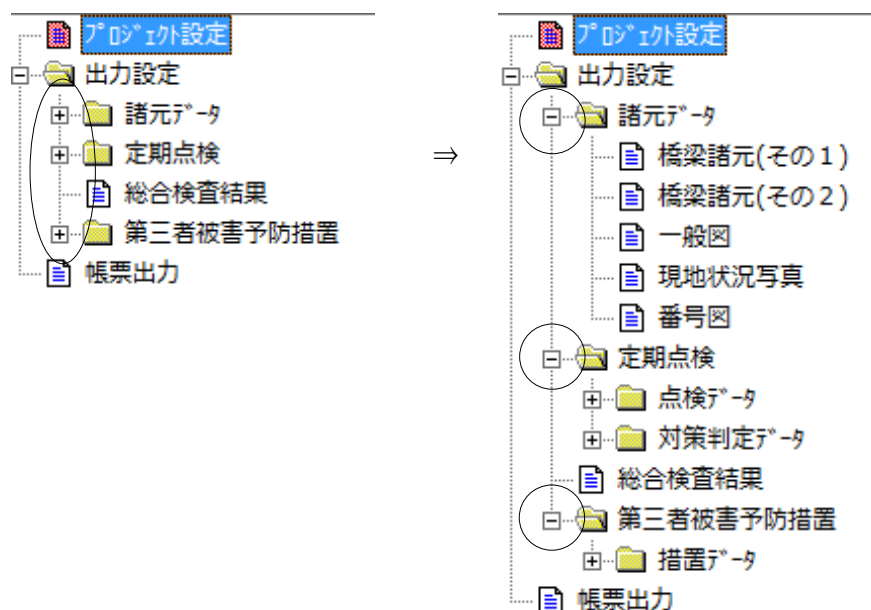


■ 変状図で「国土交通省 平成 31 年 3 月版」を選択した場合



### 5.1.1 メニューウィンドウ

階層構造を持った項目で構成されており、入力項目をマウスで選択することにより、右側のデータウィンドウが切り替わります。選択可能な画面は  マーク、選択できない画面は  マークが表示されます。、 マークをクリックすると、下の階層の選択項目の表示／非表示が切り替わります。



### 5.1.2 データウィンドウ

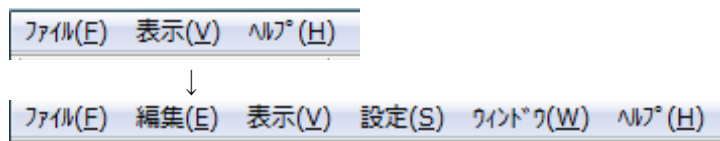
メニューウィンドウで選択された項目に対する画面を表示します。

### 5.1.3 タイトルバー

プログラム名、現在開いているファイル名を表示します。







### 5.1.4 メニューバー

項目をマウスで選択するか、**ALT**キーを押しながら ( ) 内のアルファベット文字を押します。例えば、[ファイル (F)] の場合は、**ALT+F** を押してください。ドロップダウン形式のメニューを表示しますので、その中から適切なコマンドをマウスでクリックするか矢印キーで選択して **ENTER** キーを押してください。起動画面のメニューバーは、入力データファイルを開いた時点で以下のように変わります。



### 5.1.5 ツールバー

メニューバーの機能の中で使用頻度の高いものをボタン形式で表示しています。マウスでクリックするとそのボタンに対応するメニューバーの機能と同じ働きをします。

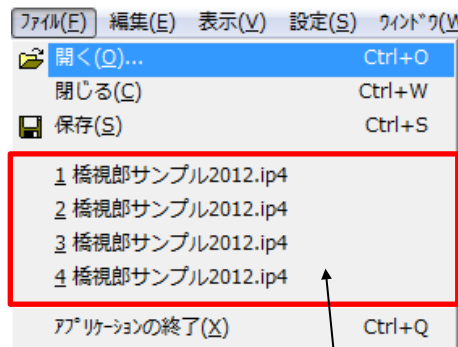
- |   |   |
|---|---|
|  開く      | : 既存の入力データを読み込むプロジェクト一覧ダイアログを開きます。<br>[ファイル (F)] メニューの [開く (O) ...] と同等の処理をします。                     |
|  保存      | : 作業中の入力データファイルを無条件に上書きします (注意してください)。[ファイル (F)] メニューの [保存 (S)] と同等の処理をします。                         |
|  切り取り    | : 数値または文字を入力するエリア (テキストボックスまたは表入力) のデータをクリップボードにコピーして表示を消去します。[編集 (E)] メニューの [切り取り (T)] と同等の処理をします。 |
|  コピー     | : 数値または文字を入力するエリア (テキストボックスまたは表入力) のデータをクリップボードにコピーします。[編集 (E)] メニューの [コピー (C)] と同等の処理をします。         |
|  貼り付け    | : 数値または文字を入力するエリア (テキストボックスまたは表入力) のデータをクリップボードにコピーして貼り付けます。[編集 (E)] メニューの [貼り付け (P)] と同等の処理をします。   |
|  バージョン情報 | : 本システムのライセンス情報およびバージョン情報を表示します。[ヘルプ (H)] メニューの [バージョン情報 (A) ...] と同等の処理をします。                       |



## 5.2 メニュー説明


### 5.2.1 ファイルメニュー

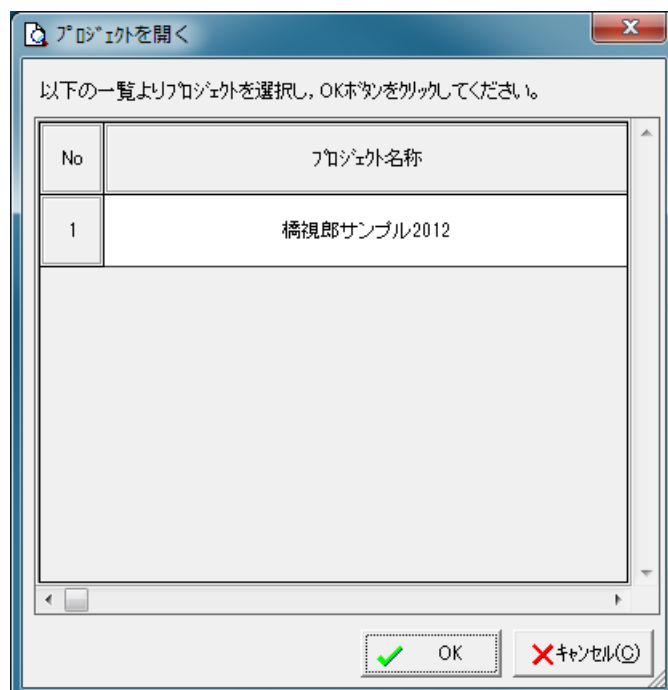
[ファイル (F)]メニューを選択すると、下図のようなドロップダウン形式のメニューが表示されます。



直近で使用したデータの履歴を表示します。このデータ名を直接マウスでクリック (選択) すれば、データファイルを読み出すことができます。

#### ■ 開く

既存の入力データファイルを読み込む場合は、[ファイル (F)]メニューの[開く (O)]を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。「プロジェクトを開く」ダイアログが表示されます。



「プロジェクトを開く」ダイアログには、橋視郎起動ランチャーのデータファイルパス以下にあるプロジェクト一覧を参照します。プロジェクト名称を選択し、[OK]ボタンをクリックするとプロジェクトを開きます。


## ■ 閉じる

作業中の入力データファイルを閉じます。


[ファイル (F) ]メニューの[閉じる (C) ]を選択すると、現在のウィンドウを閉じます。

## ■ 保存

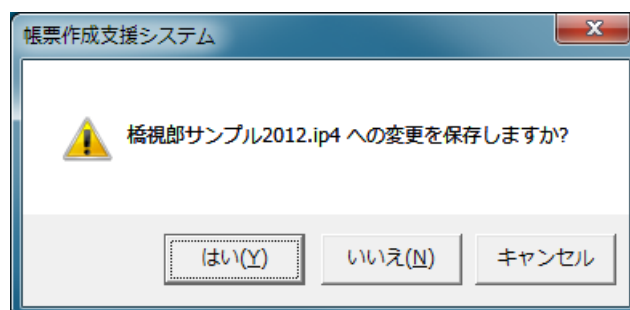
新規に入力データを作成した場合や既存の入力データを修正した場合に、データを保存します。

[ファイル (F) ]メニューの[保存 (S) ]を選択するか、ツールバーの  をクリックすると、作業中の入力データファイルに対してデータを保存します。

## ■ アプリケーションの終了

本システムを終了する場合は、[ファイル (F) ]メニューの[アプリケーションの終了 (X) ]を選択するか、親ウィンドウの右上にある  印をクリックしてください。

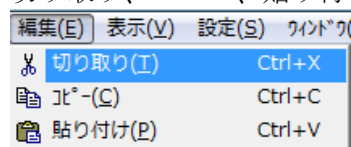
アプリケーションを終了するまでに入力データに対して編集作業を行った場合、入力データファイルに対し保存作業を促すメッセージを表示します。




[はい (Y) ]を選択すると入力データファイルを保存し、[いいえ (N) ]を選択すると保存処理を行わず、本システムを終了します。[キャンセル]を選択すると終了せずに、元の画面に戻ります。

## 5.2.2 編集メニュー


切り取り、コピー、貼り付けが行えます。




## ■ 切り取り

数値または文字を入力するエリア（テキストボックスまたは表入力）のデータをクリップボードにコピーして消去します。[編集 (E) ]メニューの[切り取り (T) ]を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。

## ■ コピー

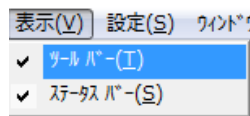
数値または文字を入力するエリア（テキストボックスまたは表入力）のデータをクリップボードにコピーします。[編集 (E) ]メニューの[コピー (C) ]を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。

## ■ 貼り付け

数値または文字を入力するエリア（テキストボックスまたは表入力）に、クリップボードから貼り付けます。[編集 (E) ]メニューの[貼り付け (P) ]を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。

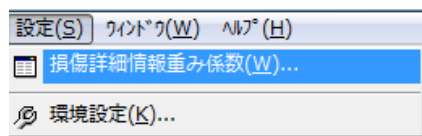
## 5.2.3 表示メニュー

ツールバーとステータスバーの表示／非表示を設定します。チェックが入っている場合は表示、チェックが入っていない場合は非表示になります。



## 5.2.4 設定メニュー

損傷詳細情報重み係数と環境設定を行います。



## ■ 損傷詳細情報重み係数

損傷詳細情報重み係数は、損傷情報などの帳票への出力の有無を自動判定するために設定します。損傷詳細情報の点検項目（長さや幅など）の重み付けを設定する画面を表示します。

各点検項目の重みを設定します

※間隔は入力された数値の逆数に対する係数  
 ※写真が登録されている損傷に対する係数

No	点検項目名	その1	その2	単位	重み係数	得点
1	長さ	2.0		m	0.01	2.00
2	幅	0.2		mm	100.00	2.00
3	高さ	5		cm	0.40	2.00
4	間隔	50		cm	100.00	2.00
5	深さ	2		cm	1.00	2.00

初期値

OK キャンセル(C)

画面上部にある「写真が登録されている損傷に対する重み係数」を入力します。また、「重み係数」に数値を入力します。

損傷詳細情報の数値（値は cm に換算します）に設定した重み係数を掛け合わせたものが、得点に表示されます。

計算された得点は、同じの損傷データ（径間/径間分割番号/部材/要素番号/損傷名称/損傷程度がすべて同じ）がある場合、合計得点が最も高い損傷データが出力対象となります。

## ■ 環境設定

システムの環境を設定します。

オプション

点検調書(その3)

☒ 現地状況写真を登録したときに、撮影日をファイル情報から自動で取得し、初期値とする。  
※チェックを外すと、登録した日付が初期値となります。

点検調書(その10)

☒ 状況写真で損傷程度が未登録の場合も、点検調書その10の損傷程度を出力する。  
※チェックを外すと「未登録」と出力されます。

損傷写真出力順の選択

☐ 径間ごとと損傷図ごとに出力する

☒ 径間ごとと写真番号ごとに出力する

点検調書(その11、その12)

☒ 定量的に取得した値を出力する

☒ 点検項目名を出力する                      例) 幅、長さ

☒ 損傷情報(その1、その2)を出力する              例) 0.1、40

☒ 単位を出力する                      例) mm、cm

※この設定はCSVファイル出力にも適用されます。

☐ 重複データチェックをするときに同じ損傷程度のものは別ものとしてチェックする。  
※チェックを外すと各損傷程度ごとに写真情報や詳細情報の項目によって最悪値をひとつだけ残すことになります。

既定値として設定(D)...

OK

キャンセル(C)

### ◆ 点検調書（その3）

現地状況写真を登録するときに、ファイル情報から写真撮影日を自動で取得するかを選択します。チェックを外すと登録した日付が初期値となります。

### ◆ 点検調書（その6）

チェックを外すと、状況写真などで損傷データが未登録の場合、「損傷程度」の出力欄が空白で出力されます。

### ◆ 損傷写真出力順の設定

損傷写真出力時の並び替え規則を設定します。変状図作成支援システムで損傷写真の振り直し規則を”図面ごとに連番を振る”とした場合には、”径間ごとと損傷図ごとに出力する”を選択してください。

### ◆ 点検調書（その7、その8）

点検調書（その7、その8）の「定量的に取得した値」の出力内容を選択します。チェックをすべて外すと何も出力されなくなります。この設定は、CSV ファイル出力にも適用されます。

### ◆ その他

重複データチェック機能で、最終的に出力対象とする損傷データを決定するときに、チェックをつけるか外すかで、出力対象が以下のように変わります。

チェックをつける	: 径間/径間分割番号/部材/要素番号/損傷名称/損傷程度 が同じ損傷データを出力対象
チェックを外す	: 径間/径間分割番号/部材/要素番号/損傷名称 が同じ損傷データを出力対象

## 参考

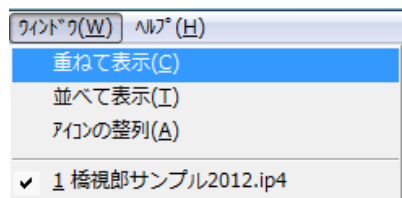
チェックをつけると、同じ損傷で異なる損傷程度であれば、出力対象として抽出されます。チェックを外すと、同一損傷で最も悪い損傷程度が出力対象として抽出されます。

<<抽出結果の例>>

径間	部材	損傷		写真 番号	抽出ルール	
		名称	程度		チェックを つける	チェックを 外す
1-0	主桁	ひびわれ	d	---	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1-0	主桁	ひびわれ	e	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1-0	主桁	ひびわれ	e	---	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### 5.2.5 ウィンドウメニュー

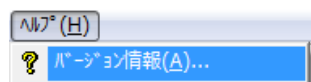
現在開いているすべてのウィンドウの配置と切り替えを行います。



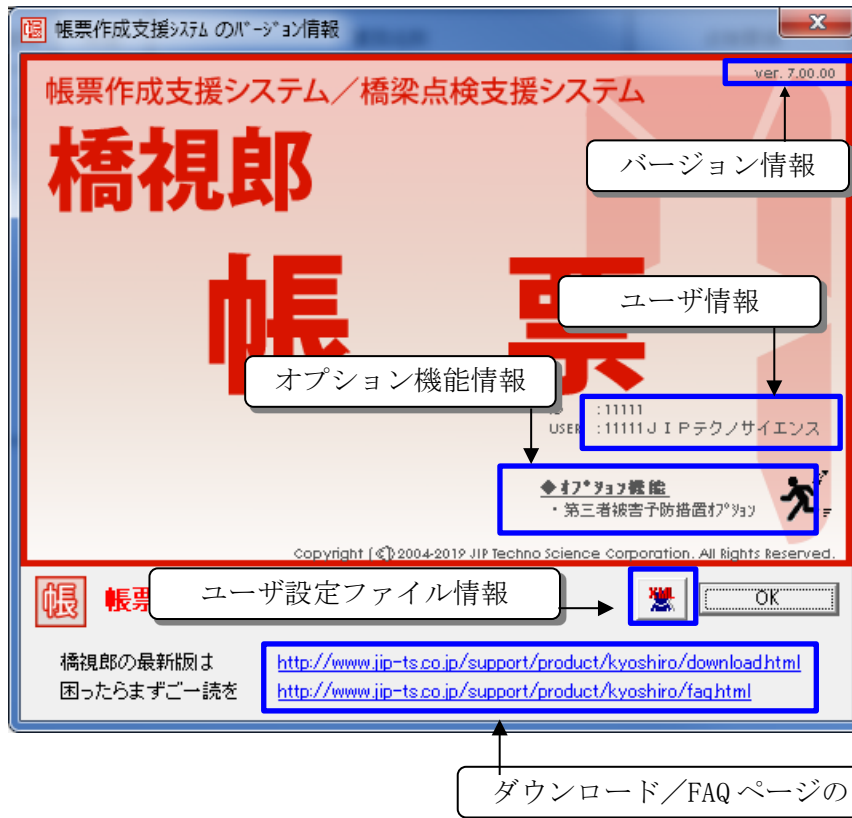
複数の子ウィンドウを開いている場合、ウィンドウメニューの下側にファイル名を列挙します。ウィンドウが重なって別のウィンドウを選択しにくい場合はこのメニューの中から選択して、一番手前に指定のウィンドウを表示することができます。

### 5.2.6 ヘルプメニュー

バージョン情報ダイアログを表示します。

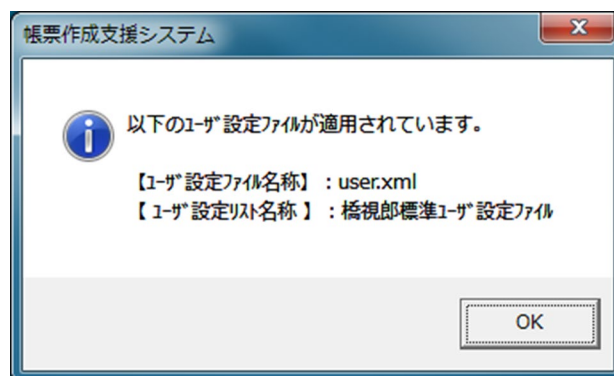


バージョン情報ダイアログには、ユーザ情報、バージョン情報、ダウンロードページと FAQ ページの URL リンク、オプション機能情報を表示します。リンクをクリックすると、各ページをブラウザで開きます。オプション機能情報は、オプションが有効な場合のみ表示します。



### 参考

「ユーザ設定ファイル情報」ボタンをクリックすると、表示しているプロジェクトに適用されているユーザ設定ファイルのファイル名称とリスト名称が表示されます。



### 5.3 画面説明（土木研究所 昭和 63 年版）

#### 5.3.1 プロジェクト設定

現在のプロジェクトにおいて、帳票出力を行う業務履歴を選択します。

プロジェクトフォルダ : C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012\昭和63年版

■業務履歴 管理ファイル再読み込み(B)...

番号	年度	業務名称	点検要領	点検種別	
				定期点検	第三者被害
1	2012年	橋視郎橋の点検業務	土木研究所 昭和63年版	○	—

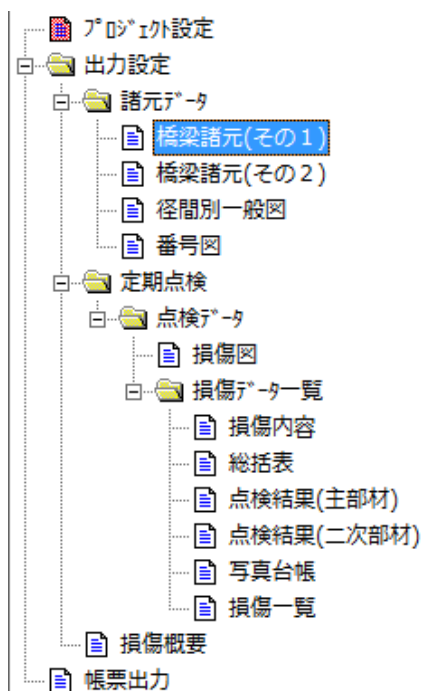
設定(S)

#### ■ 業務履歴

プロジェクト内に含まれている業務履歴を一覧で表示します。

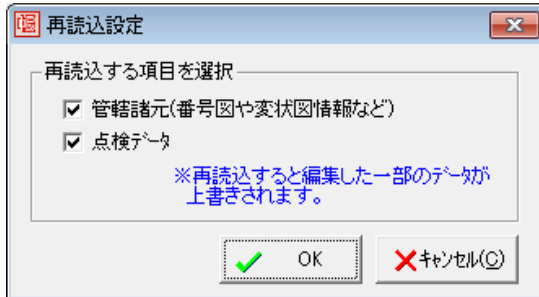
#### ■ [設定]ボタン

帳票出力を行いたい業務履歴を一覧から選択し、[設定]ボタンをクリックしてください。[設定]ボタンをクリックすると、メニューウィンドウに下図の項目が列挙されます。



■ [管理ファイル再読込]ボタン

展開図作成支援システムや変状図作成支援システムにおいてデータ変更を行った場合は、[管理ファイル再読込み]ボタンをクリックしてください。以下のダイアログが起動しますので、再読込する管理ファイル（管轄諸元、点検データ）にチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックしてください。



□ 点検データを再読込すると、以下のデータがクリアされます。

- ◆ 総括表
  - 出力の有無
- ◆ 点検結果
  - 出力の有無
- ◆ 写真台帳
  - 出力の有無
- ◆ 損傷一覧
  - 出力の有無



## 5.3.2 橋梁諸元（その1）

橋梁諸元を入力します。帳票出力のデータとなります。

橋梁コード	JTS2008	路線名	永代通り	供用開始日	2009年 9月11日 ▼
橋梁名称		管轄			
フリガナ	きょうしろうばし	地方整備局名	東京都整備局		
漢字	橋親郎橋	事務所名	中央区事務所		
※橋梁名称の修正は管理プログラムで実行してください		出張所名	日本橋出張所		
所在地		距離標			
自	東京都中央区日本橋茅場町1丁目	自	123km+45m		
至	東京都中央区日本橋茅場町1丁目	至	123km+60m		
交通条件		活荷重	T-12		
調査年	不明 ▼	等級	2等橋 ▼		
交通量(台)	2500				
大型混入率(%)	12				
荷重制限(t)	24				
昼夜区分(時間)	昼間12時間 ▼				
調書更新年月日					
<input checked="" type="radio"/> すべて同じ 2009年 2月20日 ▼					
<input type="radio"/> 個別設定 <div>調書更新年月日 個別設定...</div>					

## ■ 入力詳細

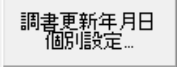
グループ	入力データ	データ形式
橋梁コード	橋梁コード	文字列
路線名	路線名	文字列
供用開始日	年月日	日付
橋梁名称	フリガナ	入力不可（橋梁名を変更する場合は管理プログラムで変更します。）
	漢字	
管轄	地方整備局名	文字列
	事務所名	文字列
	出張所名	文字列
所在地	自	文字列
	至	文字列
距離標	自	文字列
	至	文字列
交通条件	調査年	日付
	交通量（台）	数字
	大型混入率（%）	数字
	荷重制限（t）	数字
	昼夜区分（時間）	文字列（リストから選択/直接入力）
活荷重		文字列（リストから選択/直接入力）
等級		文字列（リストから選択/直接入力）
調書更新年月日		日付

## □ 「補足」

- ◆ 交通量（台）・・・大型車と一般車の合計値を入力します。
- ◆ 大型車混入率（%）・・・「0.\*\*」で入力します。
- ◆ 荷重制限（t）・・・単位は「t」です。
- ◆ 調書更新年月日・・・調書の種類ごとに、更新年月日を指定することができます。

年月日設定の詳細は、「6.3 日付の登録について」を参照してください。

すべて同じ日付にする場合は、☒ **すべて同じ** を選択し、年月日を設定します。

調書ごとに変更する場合は、☒ **個別設定** を選択し、 ボタンをクリックします。以下のようなダイアログが表示されるので、各調書の更新年月日を設定してください。



調書更新年月日設定

調書名称	更新年月日
点検調書 その1 橋梁点検結果 総括表	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その2 損傷概要	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その3 径間別点検結果	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その4 径間別 一般図	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その5 損傷図	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その6 部材番号図	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その7 損傷写真台帳	2009年 2月20日 ▼
点検調書 その8 損傷種類別判定結果一覧	2009年 2月20日 ▼

OK キャンセル(C)

調書更新年月日設定ダイアログ（土木研究所 昭和 63 年版）

## 5.3.3 橋梁諸元（その2）

橋長や幅員、形式などの諸元を入力します。

橋長・幅員			
橋長(m)	15.8		
全幅員(m)	10.8		
有効幅員(m)	9.6		
中央帯(m)	0		
中央分離帯(m)	0.4		
左側		右側	
地覆幅(m)	0.6	地覆幅(m)	0.6
歩道幅(m)	1.5	歩道幅(m)	1.5
車線幅(m)	3.1	車線幅(m)	3.1
車線数		車線数	
形式			
上部構造形式	RCT桁橋		
下部構造形式	逆T式/逆T式		
基礎形式	不明		
備考			

## ■ 入力詳細

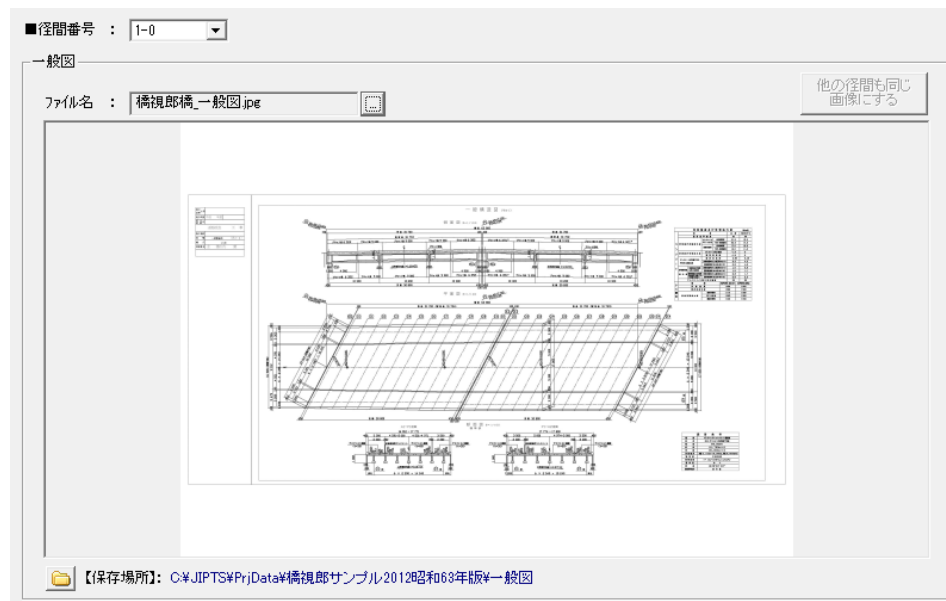
グループ	入力データ	データ形式
橋長・幅員	橋長 (m)	数字
	全幅員 (m)	数字
	有効幅員 (m)	数字
	中央帯 (m)	数字
	中央分離帯 (m)	数字
	地覆幅 (m) (左・右)	数字
	歩道幅 (m) (左・右)	数字
	車線幅 (m) (左・右)	数字
	車線数 (左・右)	数字
形式	上部構造形式	文字列
	下部構造形式	文字列
	基礎形式	文字列
備考		文字列

## □ 「補足」

- ◆ 上部構造形式・備考は4行まで記入できます。
- ◆ 下部構造形式・基礎形式は2行まで記入できます。

### 5.3.4 径間別一般図

径間別の一般図を登録します。



一般図の登録方法は、「6.2 画像ファイルの登録方法」を参照してください。


リストから、登録する径間を選択してください。

■径間番号 : 1-0 ▼

表示されている径間に登録されている一般図を他の径間にも登録したい場合は、

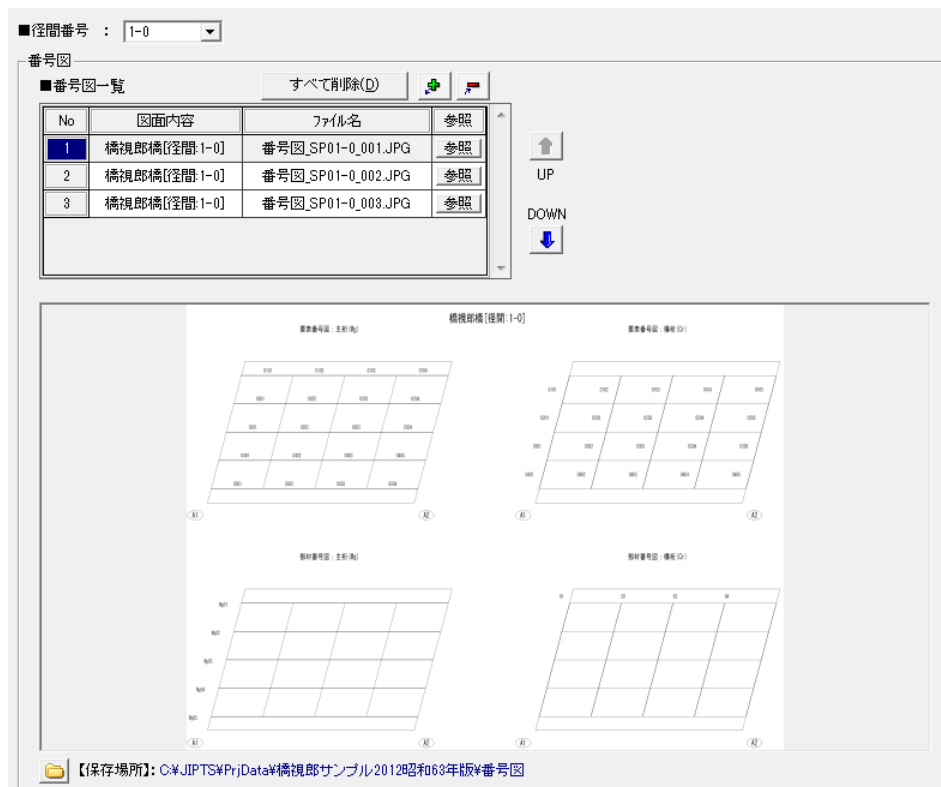
他の径間も同じ  
画像にする ボタンをクリックしてください。

このとき、すでに他の径間に画像を登録していた場合でも上書きされますのでご注意ください。

画像表示枠の下には画像ファイルを保存しているフォルダパスが表示されており、 ボタンをクリックすると、エクスプローラーで開くことができます。

## 5.3.5 番号図

一般図を径間ごとに登録します。



画像の登録方法は、「6.2 画像ファイルの登録方法」を参照してください。  
この画面では、複数枚の画像をドラッグ&ドロップで登録が可能です。

リストから、登録する径間を選択してください。

■径間番号 : 1-0



ボタンをクリックすると、出力したい画像を追加することができます。




ボタンをクリックすると、画像データの登録を消すことができます。ただし、保存場所のフォルダ内のファイルは削除しません。



ボタンをクリックすると、画像の登録順番が入れ替えられます。

すべて削除(D)

ボタンを押すと、選択している径間に登録されたすべての画像データを消すことができます。ただし、保存場所のフォルダ内のファイルは削除しません。

画像表示枠の下には画像ファイルを保存しているフォルダパスが表示されており、 ボタンをクリックすると、エクスプローラーで開くことができます。

## 5.3.6 損傷図

損傷図を登録します。

■径間番号 : 1-0

損傷図

■損傷図一覧

No	図面内容	ファイル名	参照
1	M1SD0010	M1SD0010.JPG	参照
2	M2SD0010	M2SD0010.JPG	参照
3	M2SD0020	M2SD0020.JPG	参照
4	M4SD0010	M4SD0010.JPG	参照

UP  
DOWN

すべて削除(D)

図面内容: ①ひびわれ - b (中央) → c (中央) d トン ②

【上流側】

図面内容: ①ひびわれ - b (中央) → c (中央) d トン ②

【下流側】

図面内容: ①ひびわれ - b (中央) → c (中央) d トン ②

※上流側図面で「産量(ひびわれ)」以外の特記されない箇所(凡例のみ)詳細図は以下を参照。

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋観郎サンプル2012\昭和63年版\2012\_点検\_001W実状図

操作方法は、「5.3.5 番号図」と同様です。

## 5.3.7 損傷内容

変状図作成支援システムで作成した損傷内容を一覧で表示します。登録内容と一致しているかを確認してください。また、損傷内容に対して損傷写真を登録していると、その損傷写真を確認することができます。

■径間番号 : 1-0 ■プレビュー :  サンプル橋\_20030101\_29.jpg

損傷番号	部材名称	要素番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	ハザード	写真番号
				前回	今回	その1	その2			
7	床版	0302	床版のひびわれ	b	b	---	---	---	---	-
8	床版	0302	床版のひびわれ	d	d	長さ0.5 ...	幅0.2 mm	---	---	-
9	床版	0302	状況写真	---	a	---	---	---	---	1
10	床版	0303	床版のひびわれ	b	b	---	---	---	---	2
11	床版	0303	床版のひびわれ	d	d	長さ0.5 ...	幅0.2 mm	---	---	-
12	床版	0401	床版のひびわれ	c	c	---	---	---	---	-
13	床版	0403	床版のひびわれ	b	b	---	---	---	---	-
14	床版	0404	床版のひびわれ	c	c	---	---	---	---	3
15	床版	0501	剥離・鉄筋露出	d	e	面積:450...	面積:350...	---	---	4
16	床版	0501	床版のひびわれ	b	b	---	---	---	---	-
17	床版	0502	床版のひびわれ	b	b	---	---	---	---	-

他の径間の損傷内容を確認する場合、径間番号リストで確認したい径間番号をクリックしてください。選択した径間番号に登録されている内容が表示されます。

■径間番号 :

- 1-0
- 2-0
- 3-0
- 4-0
- 5-0
- 6-0

### 5.3.8 総括表

変状図作成支援システムで作成した各径間、各部材の損傷名称を帳票に出力するかを選択します。出力する場合は、出力の有無にチェックをつけてください。

(注) ここでは、変状図で作成した主部材の損傷名称と二次部材の損傷名称の両方が画面上に表示されます。

■径間番号 : 1-0

■部材区分 : 横桁  
床版  
支承本体  
橋台(側壁)  
橋脚  
高欄  
地盤

出力項目の自動選択...

損傷番号	部材番号	損傷名称	損傷度	出力の有無
2	0201	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
3	0202	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
4	0203	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
5	0204	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
6	0301	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
7	0302	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
8	0302	床版ひびわれ	d	<input checked="" type="checkbox"/>
9	0302	その他(任意)	a	<input checked="" type="checkbox"/>
10	0303	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
11	0303	床版ひびわれ	d	<input checked="" type="checkbox"/>
12	0401	床版ひびわれ	c	<input checked="" type="checkbox"/>
13	0403	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
14	0404	床版ひびわれ	c	<input checked="" type="checkbox"/>
15	0501	剥離・鉄筋露出	e	<input checked="" type="checkbox"/>
16	0501	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
17	0502	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
18	0503	漏水・遊離石灰	e	<input checked="" type="checkbox"/>
19	0503	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>

径間番号および部材区分を選択することで、右側の表が変化します。

#### ■ 出力項目の自動選択

出力項目を同径間、同部材、同損傷において最大損傷ランクの損傷に設定する場合は、**出力項目の自動選択...** ボタンをクリックしてください。

以下のダイアログが起動されますので、自動選択の対象となるデータを選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。出力項目を条件を付けて自動選択することができます。

**出力項目の自動選択**

自動選択の対象を選択してください。

☒ 全データ対象

☐ 表示しているデータのみ対象

径間番号: 1-0

部材区分: 床版

OK キャンセル(C)



### 5.3.9 点検結果（主部材）

「5.3.8 総括表」で表示されていた内容のうち、主部材に限定して表示します。  
径間番号と部材区分を選択して部材番号・損傷名称・損傷程度が、変状図作成支援システムで作成したものが同じかを確認してください。その後に、帳票に出力する場合は出力の有無にチェックをつけてください。帳票に出力しない場合は出力の有無のチェックを外してください。

### 5.3.10 点検結果（二次部材）

「5.3.8 総括表」で表示されていた内容のうち、二次部材に限定して表示します。  
径間番号と部材区分を選択して部材番号・損傷名称・損傷程度が、変状図で作成したものが同じかを確認してください。その後に、帳票に出力する場合は出力の有無にチェックをつけてください。帳票に出力しない場合は出力の有無のチェックを外してください。

### 5.3.11 写真台帳

変状図作成支援システムで登録した損傷写真の一覧が表示されます。

■径間番号：

1=0

■部材区分：

構造物

主部材

支保本体

橋台[胸壁]

橋脚

高欄

地覆

損傷番号	写真番号	部材番号	損傷名称	損傷度	ファイル名	出力の有無
9	1	0302	その他(任意)	a	サンプル橋_2003010	<input checked="" type="checkbox"/>
10	2	0303	床版ひびわれ	b	サンプル橋_2003010	<input checked="" type="checkbox"/>
14	3	0404	床版ひびわれ	c	サンプル橋_2003010	<input checked="" type="checkbox"/>
15	4	0501	剥離・鉄筋露出	e	サンプル橋_2003010	<input checked="" type="checkbox"/>
20	5	0504	床版ひびわれ	b	サンプル橋_2003010	<input checked="" type="checkbox"/>





写真:



サンプル橋\_20030101\_37.jpg

径間番号と部材区分を選択すると、右側の表が変化します。  
表内をクリックすると、選択した損傷の写真が表の下に表示されます。

#### ■ 出力の有無

帳票に損傷写真を出力するかを設定できます。  
出力の有無にチェックがついている場合は、帳票に出力されます。

#### ■ メモ

メモ欄には、現在選択されている損傷データにメモが登録されていた場合、その内容を表示します。

### 5.3.12 損傷一覧

変状図作成支援システムで登録した損傷の一覧を表示します。

■径間番号 :

1-0

■部材区分 :

構桁  
床版  
支承本体  
橋台(胸壁)  
橋脚  
高欄  
地盤

損傷番号	部材番号	損傷名称	損傷度	出力の有無
2	0201	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
3	0202	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
4	0203	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
5	0204	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
6	0301	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
7	0302	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
8	0302	床版ひびわれ	d	<input checked="" type="checkbox"/>
9	0302	その他(任意)	a	<input checked="" type="checkbox"/>
10	0303	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
11	0303	床版ひびわれ	d	<input checked="" type="checkbox"/>
12	0401	床版ひびわれ	c	<input checked="" type="checkbox"/>
13	0403	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
14	0404	床版ひびわれ	c	<input checked="" type="checkbox"/>
15	0501	剥離・鉄筋露出	e	<input checked="" type="checkbox"/>
16	0501	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
17	0502	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>
18	0503	漏水・遊離石灰	e	<input checked="" type="checkbox"/>
19	0503	床版ひびわれ	b	<input checked="" type="checkbox"/>

径間番号と部材区分を選択すると、右側の表が変化します。

#### ■ 出力の有無

帳票に損傷を出力するかを設定できます。

出力の有無にチェックがついている場合は、帳票に出力されます。

## 5.3.13 損傷概要

点検年月日と総合検査結果を入力します。

点検年月日 : (自) 2008年 7月31日 ~ (至) 2009年 8月26日

: (前回) 不明

点検種別 : 定期点検

総合検査結果 : ※30行程度に収まるように入力してください。

本橋は、竣工後7年が経過しており、下部工において、アルカリ骨材反応が疑われる網目状のひびわれが確認されたことから、アルカリ骨材反応に関する詳細調査を実施する必要がある。  
なお、ひびわれ幅は小さく、判定区分は「損傷が軽微で補修を行う必要がない」に相当する程度である。

※266Byte入力されています。

## ■ 点検年月日

点検を行った年月日（期間）を設定します。

年月日設定の詳細は、「6.3 日付の登録について」を参照してください。

## ■ 点検種別

「定期点検」と表示されます。編集することはできません。

## ■ 総合検査結果

帳票には出力されませんが、総合検査結果を登録しておくことができます。

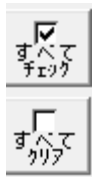
### 5.3.14 帳票出力

帳票を出力する画面です。出力する帳票の種類を選択し、Word ファイルに出力します。

画面上部には、橋梁名、業務名、点検要領、業務年度を表示します。

#### ■ 帳票出力項目

出力したい帳票にチェックしてください。チェックがついている調書のみ出力されます。



ボタンをクリックすると帳票出力項目すべてにチェックがつきます。

ボタンをクリックすると帳票出力項目すべてのチェックが外れます。

#### ■ 出力ファイル

##### □ ファイル名

出力する Word ファイルのファイル名を入力します。

(注) ¥/:\*?"<>| はファイル名に使用できません。

##### □ 出力先

ファイルの出力先は、プロジェクトフォルダ内の帳票フォルダに出力されます。



ボタンをクリックすると、エクスプローラーで帳票フォルダを開きます。

#### ■ 帳票出力

帳票出力ボタンをクリックすると、帳票作成処理が開始され、Word ファイルが出力されます。




(注) 帳票出力ボタンをクリックする前に、他の Word ファイルをすべて閉じてください。

## 5.4 画面説明（国土交通省 平成16年版）


## 5.4.1 プロジェクト設定

現在のプロジェクトにおいて、帳票出力を行う業務履歴を選択します。

プロジェクトフォルダ : C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成16年版

■業務履歴 

番号	年度	業務名称	点検要領	点検種別	
				定期点検	第三者被害
1	2012年	橋視郎橋の点検業務	国土交通省 平成16年版	○	○



## ■ 業務履歴

プロジェクト内に含まれている業務履歴を一覧で表示します。

点検種別の項目は、対象のデータがある場合“○”、ない場合“—”を表示します。

## ◆ 定期点検、第三者被害予防措置が共にある場合

番号	年度	業務名称	点検要領	点検種別	
				定期点検	第三者被害
1	2012年	橋視郎橋の点検業務	国土交通省 平成16年版	○	○

## ◆ 定期点検がある場合

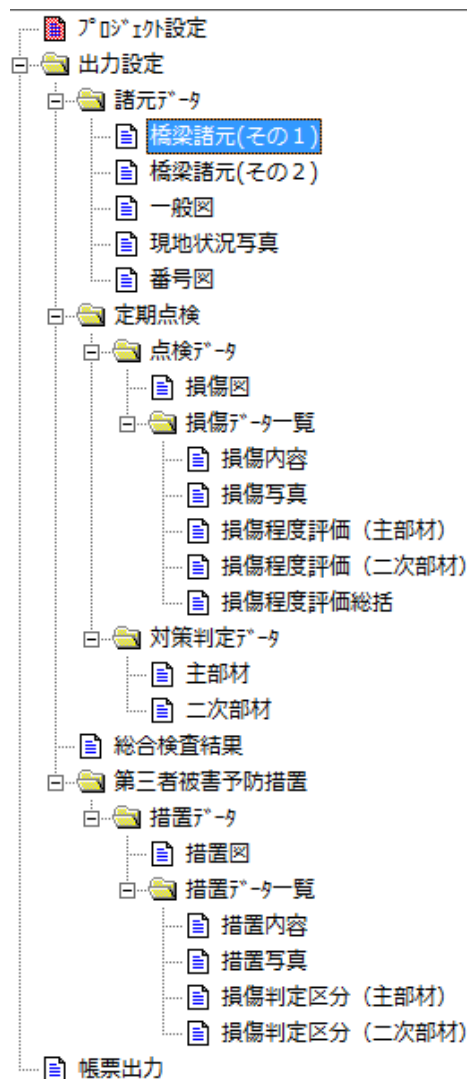
番号	年度	業務名称	点検要領	点検種別	
				定期点検	第三者被害
1	2012年	橋視郎橋の点検業務	国土交通省 平成16年版	○	—

## ◆ 第三者被害予防措置がみえる場合

番号	年度	業務名称	点検要領	点検種別	
				定期点検	第三者被害
1	2014年	橋視郎橋の点検業務	国土交通省 平成16年版	—	○

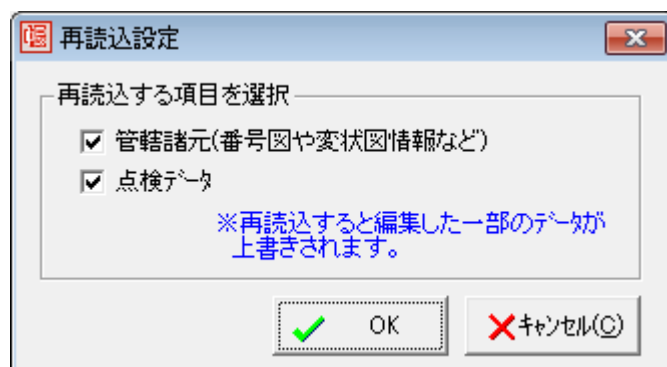
### ■ [設定 (S) ]ボタン

帳票出力を行いたい業務履歴を一覧表から選択し、[設定 (S) ]ボタンをクリックしてください。[設定 (S) ]ボタンをクリックすると、メニューウィンドウに下図の項目が列挙されます。



### ■ [管理ファイル再読込 (R) ]ボタン

展開図作成支援システムや変状図作成支援システムにおいてデータ変更を行った場合は、[管理ファイル再読込 (R) ]ボタンをクリックしてください。以下のダイアログが起動しますので、再読込する管理ファイル（管轄諸元、点検データ）にチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 点検データを再読込すると、以下のデータがクリアされます。
  - ◆ 損傷写真
    - 出力の有無
  - ◆ 損傷程度評価（主部材/二次部材）
    - 出力の有無
  - ◆ 損傷程度評価総括
    - 出力の有無
  - ◆ 措置写真
    - 出力の有無
  - ◆ 損傷判定区分（主部材/二次部材）
    - 出力の有無

## 5.4.2 橋梁諸元（その1）

橋梁諸元を入力します。

橋梁コード	JTS2008	路線名	永代通り	供用開始日	2009年 9月11日
橋梁名称 フリガナ きょうしろうばし 漢字 橋親郎橋 <small>※橋梁名称の修正は管理プログラムで実行してください</small>		管轄 地方整備局名 東京都整備局 事務所名 中央区事務所 出張所名 日本橋出張所			
所在地 自 東京都中央区日本橋茅場町1丁目 至 東京都中央区日本橋茅場町1丁目		距離標 自 123km+45m 至 123km+60m			
交通条件 調査年 不明 交通量(台) 2500 大型混入率(%) 12 荷重制限(t) 24 昼夜区分(時間) 昼間12時間		活荷重 T-12 等級 2等橋			
適用示方書 昭和24年 コンクリート標準示方書 昭和26年 コンクリート標準示方書					
調査更新年月日 <input checked="" type="radio"/> すべて同じ 2009年 2月20日 <input type="radio"/> 個別設定 調査更新年月日 個別設定...					

## ■ 入力詳細

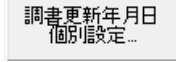
グループ	入力データ	データ形式
橋梁コード	橋梁コード	文字列
路線名	路線名	文字列
供用開始年	年月日	日付
橋梁名称	フリガナ	入力不可（橋梁名を変更する場合は管理プログラムで変更します。）
	漢字	
管轄	地方整備局名	文字列
	事務所名	文字列
	出張所名	文字列
所在地	自	文字列
	至	文字列
距離標	自	文字列
	至	文字列
交通条件	調査年	日付
	交通量（台）	数字
	大型混入率（%）	数字
	荷重制限（t）	数字
	昼夜区分（時間）	文字列（リストから選択/直接入力）
活荷重		文字列（リストから選択/直接入力）
等級		文字列（リストから選択/直接入力）
適用示方書		文字列（リストから選択/直接入力）
調査更新年月日		日付

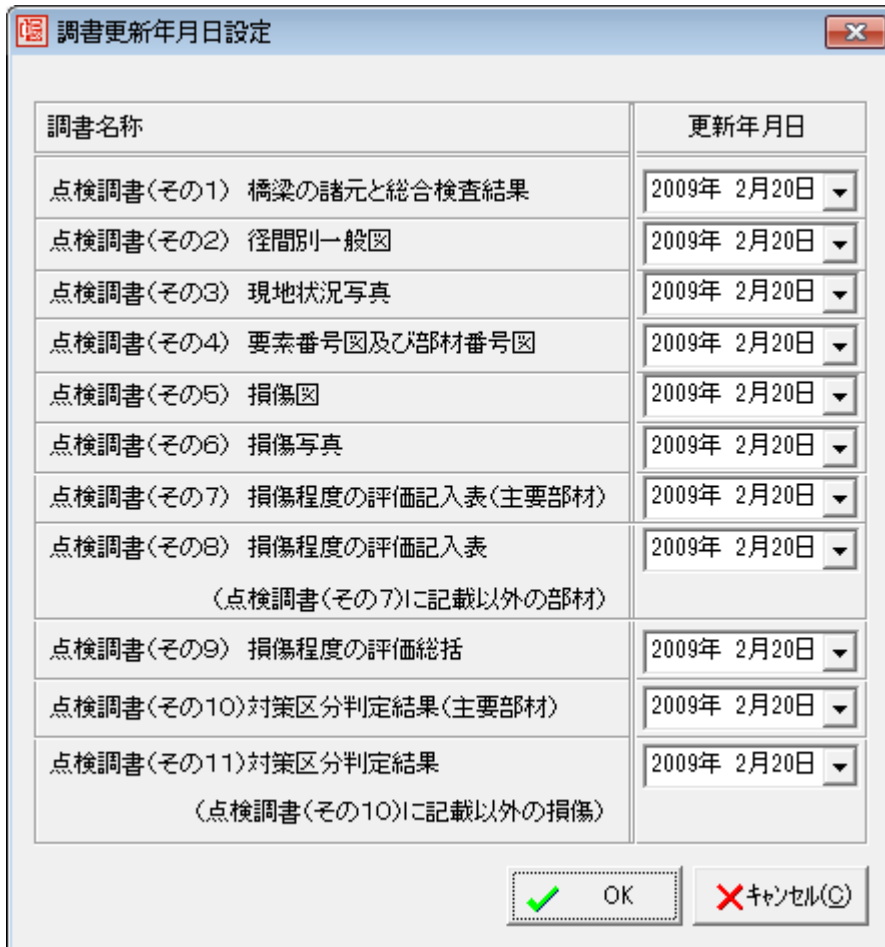


## □ 「補足」

- ◆ 交通量（台）・・・大型車と一般車の合計値を入力します。
- ◆ 大型車混入率（％）・・・「0.\*\*」で入力します。
- ◆ 荷重制限（t）・・・単位は「t」です。
- ◆ 調書更新年月日・・・調書の種類ごとに、更新年月日を指定することができます。  
年月日設定の詳細は、「6.3 日付の登録について」を参照してください。

すべて同じ日付にする場合は、☒ **すべて同じ** を選択し、年月日を設定します。

調書ごとに変更する場合は、☒ **個別設定** を選択し、 ボタンをクリックします。以下のようなダイアログが表示されるので、各調書の更新年月日を設定してください。



調書名称	更新年月日
点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その2) 径間別一般図	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その3) 現地状況写真	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その5) 損傷図	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その6) 損傷写真	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その7) 損傷程度の評価記入表(主要部材)	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その8) 損傷程度の評価記入表 (点検調書(その7)に記載以外の部材)	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その9) 損傷程度の評価総括	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その10)対策区分判定結果(主要部材)	2009年 2月20日 ▼
点検調書(その11)対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の損傷)	2009年 2月20日 ▼

☒ OK
 ☐ キャンセル(○)

調書更新年月日設定ダイアログ（国土交通省 平成 16 年版）

## 5.4.3 橋梁諸元（その2）

橋長や幅員、形式などの諸元を入力します。

橋長・幅員		左側		右側	
橋長(m)	15.8	地覆幅(m)	0.6	地覆幅(m)	0.6
全幅員(m)	10.8	歩道幅(m)	1.5	歩道幅(m)	1.5
有効幅員(m)	9.6	車線幅(m)	3.1	車線幅(m)	3.1
中央帯(m)	0	車線数		車線数	
中央分離帯(m)	0.4				
形式					
上部構造形式	RCT桁橋				
下部構造形式	逆T式/逆T式				
基礎形式	不明				
備考					

## ■ 入力詳細

グループ	入力データ	データ形式
橋長・幅員	橋長 (m)	数字
	全幅員 (m)	数字
	有効幅員 (m)	数字
	中央帯 (m)	数字
	中央分離帯 (m)	数字
	地覆幅 (m) (左・右)	数字
	歩道幅 (m) (左・右)	数字
	車線幅 (m) (左・右)	数字
	車線数 (左・右)	数字
形式	上部構造形式	文字列
	下部構造形式	文字列
	基礎形式	文字列
備考		文字列

## □ 「補足」

- ◆ 上部構造形式・備考は4行まで記入できます。
- ◆ 下部構造形式・基礎形式は2行まで記入できます。

## 5.4.4 一般図

橋梁の全体図と一般図を径間ごとに登録します。

■径間番号 : 1-0

全体図

ファイル名 : 橋視郎橋\_全体図.jpg

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成16年版\全体図

一般図

ファイル名 : 橋視郎橋\_一般図.jpg

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成16年版\一般図


全体図および一般図の登録方法は、「6.2 画像ファイルの登録方法」を参照してください。

リストから、登録する径間を選択してください。

■径間番号 : 1-0

表示されている径間に登録されている全体図または一般図を他の径間にも登録したい場合は、**他の径間も同じ画像にする** ボタンをクリックしてください。

このとき、すでに他の径間に画像を登録していた場合でも上書きされますのでご注意ください。

画像表示枠の下には画像ファイルを保存しているフォルダパスが表示されており、 ボタンをクリックすると、エクスプローラーで開くことができます。

### 5.4.5 現地状況写真

現地で撮影した状況写真を登録します。

■径間番号 : 1-0

写真説明 文例登録(M)... よく使う径間設定(U)... 写真番号一括設定(N)... 撮影日一括設定(P)... 他の径間も同じ画像にする

現地状況写真

写真番号 1 撮影日 2008年 8月12日 写真番号 2 撮影日 2008年 8月12日

径間番号 1-0 径間番号 1-0

写真説明 路面状況 路面状況の写真 写真説明 側面状況その1 側面の写真

写真番号 3 撮影日 2008年 8月12日 写真番号 4 撮影日 2008年 8月12日

径間番号 1-0 径間番号 1-0

写真説明 側面状況その2 側面の写真 写真説明 橋銘版 橋銘版の写真

写真番号 1 撮影日 2008年 8月12日 写真番号 2 撮影日 2008年 8月12日

径間番号 1-0 径間番号 1-0

写真説明 橋銘版 橋銘版の写真

【保存場所】: C:\JPTS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成16年版\2012点検\現地状況写真

写真の登録方法は、「6.2 画像ファイルの登録方法」を参照してください。

#### ■ 径間番号

リストから、写真を登録したい径間を選択します。

■径間番号 : 1-0

#### ■ 写真番号

写真番号を設定します。


写真番号 1

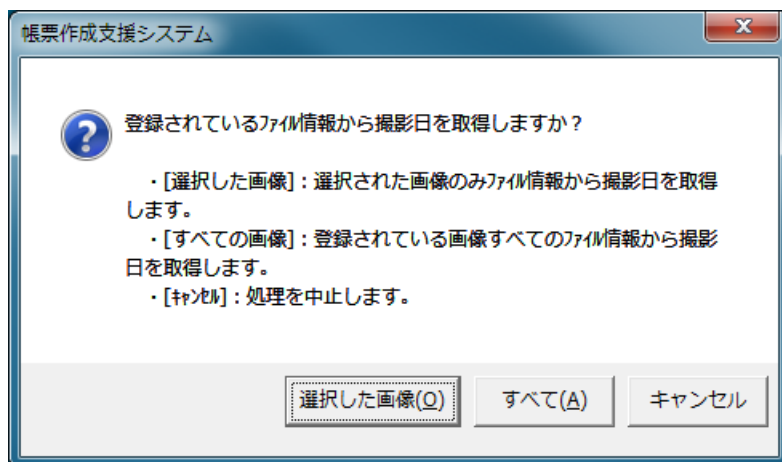
初期状態では、自動で1番から連番で振られています、ユーザーが自由に変更することができます。

#### ■ 撮影日

現況写真の撮影日を設定します。

年月日設定の詳細は、「6.3 日付の登録について」を参照してください。

 ボタンをクリックすると、以下のようなメッセージボックスが表示されます。「選択した画像」または「すべて」を選択すると登録されている写真のファイル情報から撮影日を自動で取得します。



#### ■ 径間番号

現在選択している径間番号が表示されます。編集することはできません。

径間番号	1-0
------	-----

#### ■ 写真説明


写真の説明を、文字列（リストから選択/直接入力）で入力します。1行のみ登録できます。

写真説明	路面状況
------	------

#### ■ メモ


写真説明とは別に、メモを登録できます。

メモ	+
路面状況の写真	


 ボタンをクリックするとよく使うメモを選択できます。

メモ	+	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザ設定メモ1</li> <li>ユーザ設定メモ2</li> <li>ユーザ設定メモ3</li> <li>ユーザ設定メモ4</li> <li>ユーザ設定メモ5</li> <li>ユーザ設定メモ6</li> <li>ユーザ設定メモ7</li> <li>ユーザ設定メモ8</li> <li>ユーザ設定メモ9</li> <li>ユーザ設定メモ10</li> </ul>
路面状況		

### ■ ページ追加





同一径間内で多くの写真を登録したい場合は、 ボタンをクリックすると、ページを追加することができます。

### ■ ページ削除

ページを誤って追加してしまったり、写真を減らしてページが不要になった場合は、 ボタンをクリックすると、現在開いているページを削除することができます。  
ページを削除すると、削除したページに含まれる写真の登録は削除されます。

### ■ ページ移動

ページの移動は同一径間内で行えます。

 ボタンをクリックすると次のページに移り、 ボタンをクリックすると最終ページに移動することができます。また、 ボタンをクリックすると前のページに戻り、 ボタンをクリックすると先頭ページに移動することができます。

### ■ 枠の挿入/削除/クリア/撮影日の取得

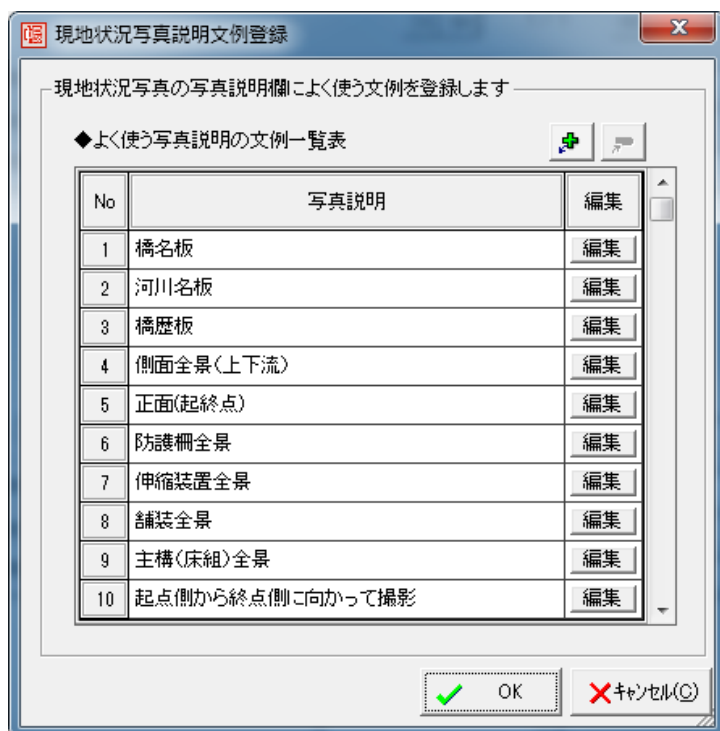
画面上の写真表示領域で右クリックをすると表示されるポップアップメニューより写真枠の挿入/削除/クリア/撮影日の取得ができます。



## ■ 写真説明文例登録

写真説明  
文例登録(M)...

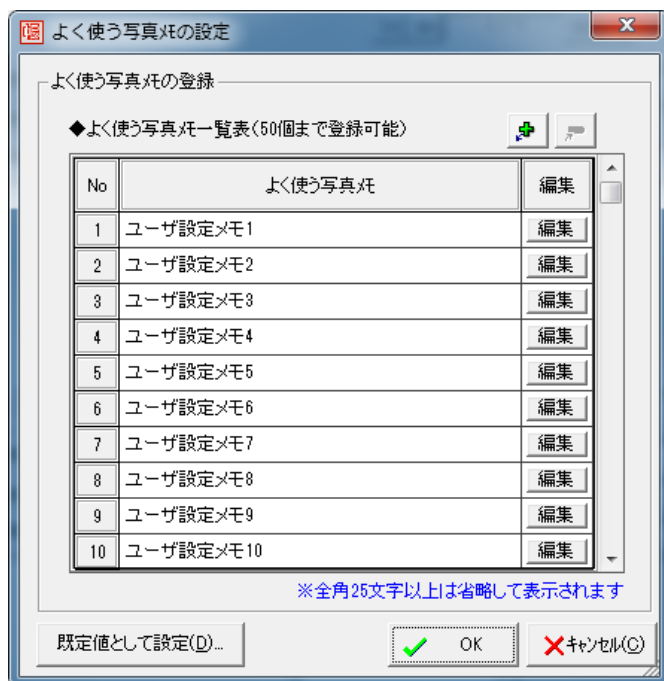
ボタンをクリックすると、写真説明文例登録ダイアログが表示されます。写真説明の文例を登録します。



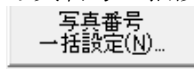
## ■ よく使うメモ設定

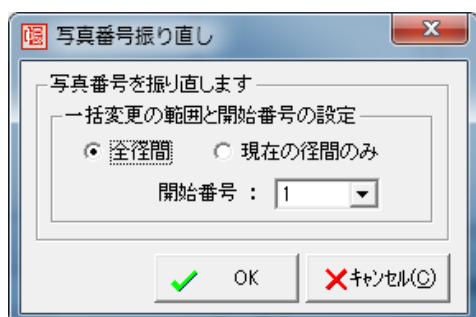
よく使う  
設定(U)...

ボタンをクリックすると、よく使う写真メモの設定ダイアログが表示されます。写真メモを登録します。50 個まで登録できます。

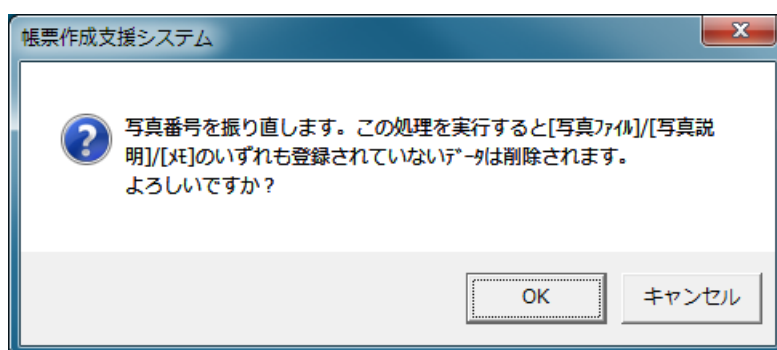


### ■ 写真番号一括設定

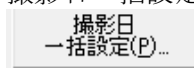
 ボタンをクリックすると、写真番号一括設定ダイアログが表示されます。複数径間ある場合は、全径間振り直すか、現在表示している径間のみ振り直すかを選択します。また、開始番号を指定することができます。

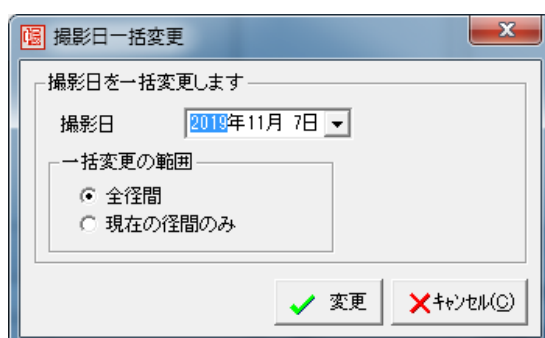


写真番号を振り直すと、写真ファイル、写真説明、メモの3つのいずれかが登録されていないデータを自動で削除します。登録忘れをしていないかを確認のうえ、実行してください。

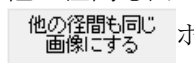



### ■ 撮影日一括設定

 ボタンをクリックすると、撮影日一括変更ダイアログが表示されます。設定したい日付を選択し、複数径間ある場合は、全径間振り直すか、現在表示している径間のみ振り直すかを選択し変更ボタンをクリックしてください。



### ■ 他の径間も同じ画像にする

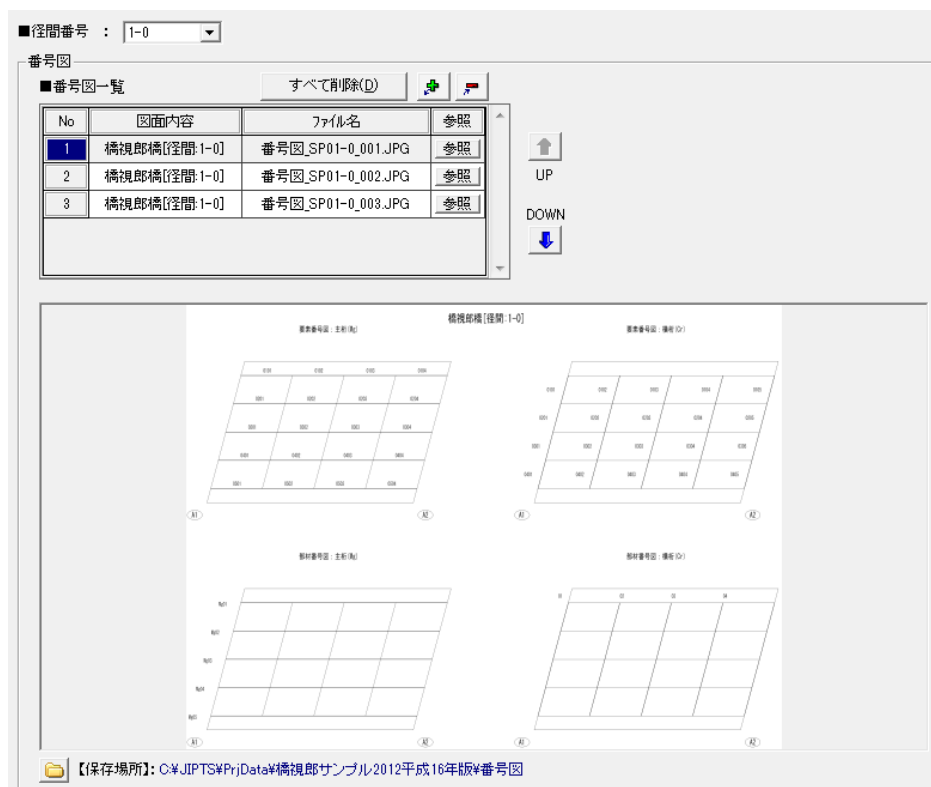
 ボタンをクリックすると、選択している径間の現況写真データを他の径間へコピーします。他の径間で、すでに登録されたデータがあっても上書きされます。ご注意ください。

画像表示枠の下には画像ファイルを保存しているフォルダパスが表示されており、 ボタンをクリックすると、エクスプローラーで開くことができます。



## 5.4.6 番号図

番号図を登録します。



操作方法は、「5.3.5 番号図」と同様です。

## 5.4.7 損傷図

損傷図を登録します。

■径間番号 : 1-0

損傷図

■損傷図一覧

すべて削除(D)

No	図面内容	ファイル名	参照
1	M1SD0010	M1SD0010.JPG	参照
2	M2SD0010	M2SD0010.JPG	参照
3	M2SD0020	M2SD0020.JPG	参照
4	M4SD0010	M4SD0010.JPG	参照

UP

DOWN

【上流側】

【下流側】

※上記の図面で「床面ひびわれ」以外の特記されない箇所（凡例のみ）詳細区分4以下を要す。

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視部サンプル2012平成16年版\2012点検\変状図

操作方法は、「5.3.5 番号図」と同様です。

## 5.4.8 損傷内容

変状図作成支援システムで作成した損傷内容を一覧で表示します。登録内容と一致しているかを確認してください。また、損傷内容に対して損傷写真を登録していると、その損傷写真を確認することができます。

■経路番号 : 1-0 ■プレビュー :  サンプル橋\_20030101\_32.jpg

損傷番号	部材名称	要索番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真番号
				前回	今回	その1	その2			
1	横桁	0202	ひたひたわれ	b	c	---	---	---	10	-
1	横桁	0203	ひたひたわれ	b	c	---	---	---	10	-
1	横桁	0204	ひたひたわれ	b	c	---	---	---	10	-
2	床版	0201	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	-
3	床版	0202	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	-
4	床版	0203	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	-
5	床版	0204	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	-
6	床版	0301	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	-
7	床版	0302	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	-
8	床版	0302	床版ひたひたわれ	d	d	長さ0.5 m	幅0.2 mm	---	1	-
9	床版	0302	状況写真	---	a	---	---	---	---	1
10	床版	0303	床版ひたひたわれ	b	b	---	---	---	1	2
11	床版	0303	床版ひたひたわれ	d	d	長さ0.5 m	幅0.2 mm	---	1	-
12	床版	0401	床版ひたひたわれ	c	c	---	---	---	1	-

操作方法は、「5.3.7 損傷内容」と同様です。

### 5.4.9 損傷写真

変状図作成支援システムで登録した損傷写真が表示されます。

■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 横筋【0枚】 縦筋【0枚】 高欄【0枚】 支保本柱【0枚】 地震【0枚】 橋台【0枚】

並び替え(S)...

損傷番号	写真番号	要求番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	出力の有無
				前回	今回	その1	その2			
9	1	0302	状況写真	---	a	---	---	---	---	✓
10	2	0303	床版ひびわれ	b	b	---	---	---	---	✓
14	3	0404	床版ひびわれ	c	c	---	---	---	---	✓
15	4	0501	剥離・鉄筋露出	d	e	面積:450×200 mm	面積:350×150 mm	---	---	✓
20	5	0504	床版ひびわれ	b	b	---	---	---	---	✓

選択した損傷写真の詳細情報

■プレビュー :  ■注 :   
 ■撮影日 : 2008/07/31 09:36:12※

■ファイル名 : サンプル橋\_20080101\_29.jpg

径間番号および部材区分を選択することで、右側の表が変化します。  
部材区分の【】は登録されている写真の枚数を示します。

#### ■ 出力の有無

帳票に損傷写真を出力するかを設定できます。

出力の有無にチェックがついている場合は、帳票に出力されます。

#### ■ データの並び替え

損傷データの一覧の並び替えが行えます。並び替えボタンをクリックするか、画面上（径間番号リストや部材区分、一覧などを除く箇所）を右クリックして、表示されるポップアップメニューより一覧表の並び替えを選択できます。

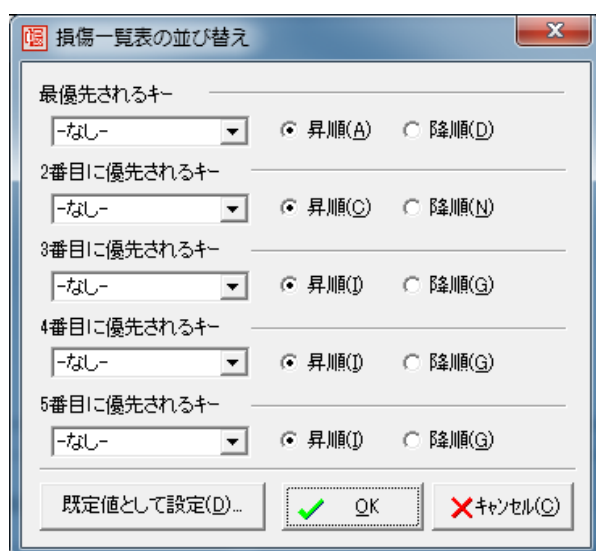
20	5	0504	床版ひびわれ	b	b	---
----	---	------	--------	---	---	-----

選択した損傷写真の詳細情報

■プレビュー : 

一覧表の並び替え(G)  
 重複チェック(D)  
 損傷詳細情報重み係数(W)...

下図の損傷一覧表の並び替えダイアログが表示されます。5 つまで設定が可能です。



並び替えのキーは以下の 6 つです。

- ✧ 部材名称
- ✧ 要素番号
- ✧ 損傷名称
- ✧ 損傷程度
- ✧ 写真番号
- ✧ 損傷番号

**既定値**

「既定値として設定 (D)」が可能なデータがあります。  
詳細は、変状図作成支援システム「5.1 ユーザ設定機能について」を参照してください。

## 5.4.10 損傷程度評価（主部材）

変状図作成支援システムで作成した主部材の損傷データの一覧が表示されます。

■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 橋脚  
床版  
橋台[胸壁]

並び替え(S)... 重複データチェック(C)

損傷番号	要素番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真番号	出力の有無
			前回	今回	その1	その2				
1	0202	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0203	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0204	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>

径間番号および部材区分を選択することで、右側の表が変化します。  
部材区分の【】は登録されている写真の枚数を示します。

## ■ 出力の有無

帳票に損傷写真を出力するかを設定できます。

出力の有無にチェックがついている場合は、帳票に出力されます。

## ■ データの並び替え

損傷データの一覧の並び替えが行えます。並び替えボタンをクリックするか、画面上を右クリックして表示されるポップアップメニューより一覧表の並び替えを選択できます。操作方法は、「5.4.9 損傷写真」と同様です。

## ■ 重複データチェック

損傷データの一覧の出力の有無を、同じ損傷の中で最も得点の高い損傷データにチェックがつくようにすることができます。重複データチェックボタンをクリックするか、画面上を右クリックして表示されるポップアップメニューより重複データチェックを選択できます。

重み係数の設定は、「5.2.4 設定メニュー」を参照してください。

1	0202	ひびわれ	b	c	
			b	c	
			b	c	

一覧表の並び替え(S)  
 重複データチェック(D)  
 損傷詳細情報重み係数(W)...

## 5.4.11 損傷程度評価（二次部材）

変状図作成支援システムで作成した二次部材の損傷データの一覧が表示されます。

■ 径間番号 :
■ 部材区分 :

1-0

支保本体  
 高橋  
 地盤  
 岩盤

並み替え(S)...

重複データチェック(C)

損傷 番号	要素 番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
21	0102	腐食	d	d	---	---	---	---	6	<input checked="" type="checkbox"/>
22	0102	防食機能の劣化	e	e	---	---	2	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>
21	0302	腐食	d	d	---	---	---	---	6	<input checked="" type="checkbox"/>
22	0302	防食機能の劣化	e	e	---	---	2	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>
21	0502	腐食	d	d	---	---	---	---	6	<input checked="" type="checkbox"/>
22	0502	防食機能の劣化	e	e	---	---	2	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。

## 5.4.12 損傷程度評価総括

損傷程度評価（主部材・二次部材）の総括を表示します。

■ 径間番号 : 1-0 ■ 部材区分 : ☐ 前2桁 ☒ 後2桁 ☐ 径間単位で評価する

並み替え(S)... 重複データチェック(C)

損傷番号	要素番号	部材番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真番号	出力の有無
				前回	今回	その1	その2				
1	0202	02	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0203	03	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0204	04	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>

以下の内容を除く項目の操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。

## ■ 要素番号の表記

☐ 前2桁 は要素番号の前2桁が部材番号を表し、☒ 後2桁 は要素番号の後2桁が部材番号表します。☐ 径間単位で評価する は径間単位で評価することができます。

## ■ 点検調書（その9）の集計結果の確認

損傷データの一覧上をダブルクリックすると現時点の出力有無状態で集計した調書（その9）の集計結果が確認できます。

点検調書（その9） 損傷程度の評価総括

全10件のデータを表示しています

径間	工種	材料	部材名称	記号	番号	損傷の種類(程度):今回	損傷の種類(程度):前回
1	S	C	横桁	Cr	02	ひびわれ(c)	ひびわれ(b)
1	S	C	横桁	Cr	03	ひびわれ(c)	ひびわれ(b)
1	S	C	横桁	Cr	04	ひびわれ(c)	ひびわれ(b)
1	S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e)・漏水・...	剥離・鉄筋露出(d)・漏水・...
1	A	C	橋台[胸壁]	Ap	01	ひびわれ(d)・漏水・遊離石...	ひびわれ(d)・漏水・遊離石...
1	A	C	橋台[胸壁]	Ap	02	ひびわれ(d)・漏水・遊離石...	ひびわれ(d)・漏水・遊離石...
1	B	S	支承本体	Bh	00	腐食(d)防食機能の劣化(e)	腐食(d)防食機能の劣化(e)
1	R	C	高欄	Ra	00	剥離・鉄筋露出(d)・うき(e)	剥離・鉄筋露出(d)・うき(e)
1	R	C	地震	Fe	00	うき(e)	うき(e)
1	R	A	舗装	Pm	00	路面の凹凸(c)・舗装の異...	路面の凹凸(c)・舗装の異...

表示項目の選択: すべてのデータを表示

閉じる(C)



参  
考

変状図作成支援システム「6.4.48 オプションダイアログ」において、過年度のデータを登録するのチェックが外れている場合、以下の5画面の損傷程度（前回）は無効（グレー）表示されます。

- ◇ 損傷内容
- ◇ 損傷写真
- ◇ 損傷程度評価(主部材)
- ◇ 損傷程度評価(二次部材)
- ◇ 損傷程度評価総括

損傷 番号	要素 番号	部材 番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類
				前回	今回	その1	その2	
1	0202	02	ひびわれ		c	---	---	---
1	0203	03	ひびわれ		c	---	---	---
1	0204	04	ひびわれ		c	---	---	---

### 5.4.13 主部材

変状図作成支援システムで作成した損傷データから、対策区分判定の設定を行います。この画面では、主部材のみ表示されます。

診断データ初期化(Q)... ※既存の診断データを全て削除し、点検データより診断元データを作成します。

部材選択  
径間番号 : 1-0 部材 : 床版

点検データ一覧 :

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新
		最大	最小			
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	M	
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	M	
3	00	d	b	床版ひびわれ	M	

※対策区分判定が“A”のデータは帳票に出力されません

原因(確定) :

原因(推定) :

所見 :

一行Copy Paste (Ctrl+V)

#### ■ 診断データ初期化

診断データ初期化(Q)...

ボタンをクリックすると、現在の診断データをすべて削除し、点検データより初期の診断データを作成します。

#### ■ 部材選択

参照したい径間番号および部材をリストから選択してください。点検データの一覧が変化します。

径間番号 : 1-0 部材 : 床版

#### ■ 対策区分判定

各部材の損傷に対して、対策区分判定をリストから選択します。

対策区分判定

E2

M

C

S

- A ……損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
- B ……状況に応じて補修を行う必要がある。
- C ……速やかに補修等を行う必要がある。
- E1 ……橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
- E2 ……その他、緊急対応の必要性がある。
- M ……維持管理で対応する必要がある。
- S ……詳細調査の必要がある。

C と E1 を選択すると、更新が有効になります。対策をしていれば“○”を、対策をしていなければ、“－”を選択してください。

### ■ データのコピー&ペースト

対策区分、更新のデータをコピーし、他の損傷に貼り付けることができます。

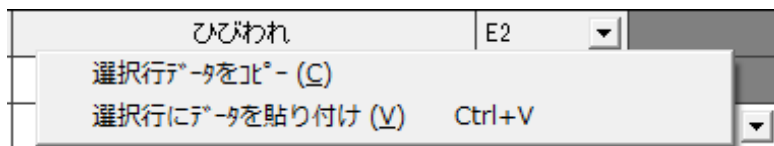
#### □ データのコピー

コピーしたいデータを選択した状態で、表の右側にある **一行Copy** ボタンをクリックします。また、マウスの右クリックで表示されるメニューからコピーすることも可能です。



#### □ データの貼り付け

貼り付けたい損傷を選択した状態で、表の右側にある **Paste (Ctrl+V)** ボタンをクリックするか、**Ctrl+V** で貼り付けられます。また、マウスの右クリックで表示されるメニューから貼り付けることも可能です。



### ■ 原因（確定） / 原因（推定）

損傷の原因（確定および推定）をリストから選択します。

原因(確定)	:	<input type="text" value="塩害"/>
原因(推定)	:	<input type="text" value="塩害"/>

### ■ 所見

対策区分判定に対する所見を登録することができます。

所見	:	<input type="text"/>
----	---	----------------------

#### 5.4.14 二次部材

変状図作成支援システムで作成した損傷データから、対策区分判定の設定を行います。この画面では、二次部材のみ表示されます。

診断データ初期化(D)

※既存の診断データを全て削除し、点検データより診断元データを作成します。

部材選択

径間番号: 1-0

部材: 舗装

点検データ一覧:

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新
		最大	最小			
1	00	c	c	路面の凹凸	E1	-
2	00	e	a	舗装の異常	E1	-

※対策区分判定が“A”のデータは帳票に出力されません

所見

一行Copy

Paste (Ctrl+V)

原因（確定および推定）の入力が無いことを除いて、操作方法は、「5.4.13 主部材」と同様です。

## 5.4.15 総合検査結果

点検年月日と総合検査結果を入力します。

## ■ 点検年月日

点検を行った年月日（期間）を設定します。

年月日設定の詳細は、「6.3 日付の登録について」を参照してください。

## ■ 点検種別

「定期点検」と表示されます。編集することはできません。

## ■ 総合検査結果

総合検査結果を登録します。帳票に出力欄にすべて表示されるようにするには、30 行以内で入力するようにしてください。また、8192Byte 以上の文字は入力できません。画面右下に現在入力されている文字の Byte 数が表示されていますので、参考にしてください。

## 5.4.16 措置図

変状図作成支援システムで作成した措置図を登録します。

■径間番号 : 1-0

措置図

■措置図一覧

すべて削除(D)

No	図面内容	ファイル名	参照
1	M1SD0010	M1SD0010.JPG	参照
2	M4SD0010	M4SD0010.JPG	参照
3	M×SD0010	M×SD0010.JPG	参照
4	M2SD0010	M2SD0010.JPG	参照
5	M2SD0020	M2SD0020.JPG	参照

UP

DOWN

[上流側]

G1側

G2側

G3側

G4側

G5側

G6側

[下流側]

図面 0001  
C (45.0×20.0cm/35.0×15.0cm)  
写真等参照


凡 例	図 章
測量点位置及び水準補正点位置で異なるなし	(A)
行方不明な点位置	(B)
測量しなかった箇所	(C)
測量した箇所	(D)
行方不明な点位置	(E)
測量点位置	(F)

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋観郎サンプル2012平成16年版\2012点検\第三者被害\変状図

操作方法は、「5.4.7 損傷図」と同様です。

## 5.4.17 措置内容

変状図作成支援システムで作成した措置内容の一覧で表示します。登録内容と一致しているかを確認してください。また、措置内容に対して措置写真を登録していると、その措置写真を確認することができます。

■径間番号 : 1-0 ■プレビュー :  サンプル橋\_20030101\_39.jpg

措置 番号	部材名称	要素 番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	パターン	写真 番号
				前回	今回	その1	その2			
1	床版	0501	---		C	面積45.0×2...	面積35.0×1...	---	---	1
2	主桁	0101	---		A1	---	---	---	---	-
3	主桁	0102	---		A1	---	---	---	---	-
4	主桁	0103	---		A1	---	---	---	---	-
5	主桁	0104	---		A1	---	---	---	---	-
6	主桁	0201	---		A1	---	---	---	---	-
7	主桁	0202	---		A1	---	---	---	---	-
8	主桁	0203	---		A1	---	---	---	---	-
9	主桁	0204	---		A1	---	---	---	---	-
10	主桁	0301	---		A1	---	---	---	---	-
11	主桁	0302	---		A1	---	---	---	---	-
12	主桁	0303	---		A1	---	---	---	---	-
13	主桁	0304	---		A1	---	---	---	---	-
14	主桁	0401	---		A1	---	---	---	---	-

操作方法は、「5.4.8 損傷内容」と同様です。

## 5.4.18 措置写真

変状図作成支援システムで登録した措置写真が表示されます。

■径間番号 :  
1-0

■部材区分 :  
床版【1枚】  
主桁【0枚】  
橋桁【0枚】  
橋台【0枚】  
橋台【0枚】

■部材区分 :  
橋台【0枚】  
高欄【0枚】  
高欄【0枚】  
高欄【0枚】

並べ替え(S)...

措置番号	写真番号	要素番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	パターン	出力の有無
				前回	今回	その1	その2			
1	3	0101	---		B	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
2	2	0101	---		A2	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
3	4	0201	---		A2	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>

選択した損傷写真の詳細情報  
■プレビュー :  


■元 :

■撮影日 : 2009/08/26 09:36:12※

■ファイル名 : サンプル橋\_20030101\_33.jpg

操作方法は、「5.4.9 損傷写真」と同様です。



## 5.4.19 措置判定区分（主部材）

変状図作成支援システムで作成した主部材の措置データの一覧が表示されます。

■径間番号 :
■部材区分 :

1-0

床板  
主桁  
横桁  
橋台[縦壁]

並み替え(S)...

重複データチェック(C)

措置 番号	要素 番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	パターン	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
1	0501	---		C	面積:45.0×20.0 c...	面積:35.0×15.0 c...	---	---	1	✓
42	0101	---		A2	---	---	---	---	-	✓
43	0201	---		A2	---	---	---	---	-	✓
44	0202	---		A2	---	---	---	---	-	✓
45	0203	---		A2	---	---	---	---	-	✓
46	0204	---		A2	---	---	---	---	-	✓
47	0301	---		A2	---	---	---	---	-	✓
48	0302	---		A2	---	---	---	---	-	✓
49	0303	---		A2	---	---	---	---	-	✓
50	0304	---		A2	---	---	---	---	-	✓
51	0401	---		A2	---	---	---	---	-	✓
52	0402	---		A2	---	---	---	---	-	✓
53	0403	---		A2	---	---	---	---	-	✓
54	0404	---		A2	---	---	---	---	-	✓
55	0501	---		A2	---	---	---	---	-	✓

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。

## 5.4.20 措置判定区分（二次部材）

変状図作成支援システムで作成した二次部材の措置データの一覧が表示されます。

■径間番号 :

T-0

■部材区分 :

高床  
地盤

並び替え(S)...

重複データチェック(C)

措置 番号	要素 番号	損傷名称	措置判定区分		詳細情報		分類	ハザード	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
1	0201	---		C	面積:0.58 m2	---	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	0101	---		B	面積:0.54 m2	---	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>	

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。

参  
考

措置データについては、過年度データを登録する機能がないため、以下の4画面の損傷判定区分（前回）は常に無効（グレー）表示されます。

- ◇ 措置内容
- ◇ 措置写真
- ◇ 措置程度評価(主部材)
- ◇ 措置程度評価(二次部材)

## 5.4.21 帳票出力

帳票を出力する画面です。出力する帳票の種類を選択し、Word ファイルまたは Excel ファイルに出力します。

画面上部には、橋梁名、業務名、点検要領、業務年度を表示します。また、出力するデータを「定期点検データ」と「第三者被害予防措置データ」から選択します。

## ■ 帳票出力項目

出力したい帳票にチェックをつけてください。チェックがついている調書のみ出力されます。



ボタンをクリックすると帳票出力項目（圧縮を除く）すべてにチェックがつきます。



ボタンをクリックすると帳票出力項目（圧縮を除く）すべてのチェックが外れます。

## ■ 圧縮（調書（その2）～調書（その6））

画像が添付される調書のファイルサイズを小さくしたいときに、チェックをつけてください。この機能はExcel 出力するときのみ有効となります。

## 注意

圧縮機能を使用すると画像が劣化する（ぼやける）ことがあります。出力されたExcel ファイルの画像を確認して圧縮機能を利用するかどうか判断してください。白黒画像（番号図や損傷図）は劣化が顕著になる傾向があります。

## ■ 帳票出力範囲

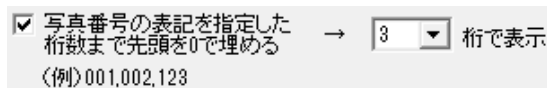
全径間または指定した径間の出力が行えます。

- ☒ **全径間** 全径間の帳票を出力することができます。
- ☐ **径間指定** 指定した径間番号のみを出力することができます。

## ■ 出力オプション

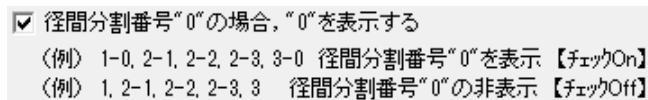
### □ 写真番号の表記

写真を出力する「その3、その6」の写真番号を、「001」または「1」の設定を行います。桁数は、2～4から選択できます。



### □ 径間分割番号の表記

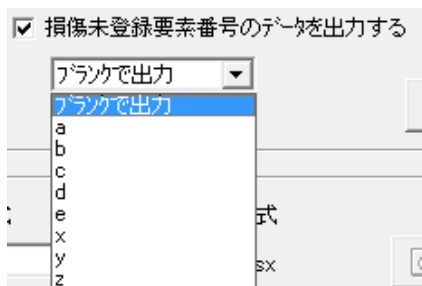
径間分割番号が0の場合、帳票に「径間番号-0」と表記するかどうかを選択します。



チェックをつけると、全径間において径間分割が無い場合でも、分割番号が出力されます。チェックを外すと、径間分割番号が0の場合には、「-0」（ハイフン0）を出力しません。ただし、分割番号が0では無い場合には、「1-1」のように、分割番号も出力します。

### □ 損傷未登録要素番号のデータ出力

調書（その7）、調書（その8）に、損傷未登録の要素番号データの出力の有無を選択します。



チェックをつけると、損傷がない場合も出力します。チェックをつけた場合、リストで選択したものが損傷程度列に出力されます（空白で出力を選択した場合は何も出力されません）。チェックを外す場合、損傷未登録の要素番号は出力されなくなります。

### □ 既定値として設定

出力オプションの設定を既定値として保存することができます。

**既定値**

[既定値として設定(D)]が可能なデータがあります。  
詳細は、変状図作成支援システム「5.1 ユーザ設定機能について」を参照してください。

## ■ 出力ファイル

## □ ファイル形式

帳票を出力するファイル形式を、Word と Excel から選択することができます。

Word 形式で出力したい場合は、 Microsoft Word形式 を選択してください。

Excel 形式で出力したい場合は、 Microsoft Excel形式 を選択してください。

選択を変更すると、ファイル名の拡張子と帳票出力ボタンが切り替わります。

## □ ファイル名

出力する Word ファイルまたは Excel ファイルのファイル名を入力またはリストから選択します。リストには、橋梁名または、帳票フォルダにすでに作成されているファイル名が表示されます。

(注) ¥/:\*?"<>| はファイル名に使用できません。

## □ 出力先

ファイルの出力先は、プロジェクトフォルダ内の帳票フォルダに出力されます。

 ボタンをクリックすると、エクスプローラーで帳票フォルダを開きます。

## ■ 帳票出力

帳票出力ボタンをクリックすると、帳票作成処理が開始され、ファイルが出力されます。

Word 出力を選択しているときは、



ボタンが表示されます。


Excel 出力を選択しているときは、



ボタンが表示されます。

- ◆ Word 形式で出力する際には、帳票出力ボタンをクリックする前に、他の Word ファイルをすべて閉じてください。
- ◆ Excel 形式で出力する際には、帳票出力ボタンをクリックする前に、同じファイル名の Excel ファイルをすべて閉じてください。

## ■ 帳票確認

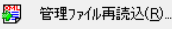
 帳票確認(V) ボタンをクリックすると、ファイル名に表示されているファイルを開きます。

## 5.5 画面説明（国土交通省 平成 26 年版、平成 31 年 3 月版）


### 5.5.1 プロジェクト設定

現在のプロジェクトにおいて、帳票出力を行う業務履歴を選択します。

プロジェクトフォルダ : C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル\2012平成26年版

■業務履歴 

番号	年度	業務名称	点検要領	点検種別	
				定期点検	第三者被害
1	2012年	橋視郎橋の点検業務	国土交通省 平成26年版	○	○



操作方法是、「5.4.1 プロジェクト設定」と同様です。

## 5.5.2 橋梁諸元（その1）

橋梁諸元を入力します。

橋梁コード	JTS2008	路線名	永代通り	供用開始日	2009年 9月11日
橋梁名称 フリガナ <input type="text" value="きょうしろうばし"/> 漢字 <input type="text" value="橋親郎橋"/> <small>※橋梁名称の修正は管理プログラムで実行してください</small>		管轄 地方整備局名 <input type="text" value="東京都整備局"/> 事務所名 <input type="text" value="中央区事務所"/> 出張所名 <input type="text" value="日本橋出張所"/>			
所在地 自 <input type="text" value="東京都中央区日本橋茅場町1丁目"/> 至 <input type="text" value="東京都中央区日本橋茅場町1丁目"/>		距離標 自 <input type="text" value="123km+45m"/> 至 <input type="text" value="123km+60m"/>			
交通条件 調査年 <input type="text" value="不明"/> 交通量(台) <input type="text" value="2500"/> 大型混入率(%) <input type="text" value="12"/> 荷重制限(t) <input type="text" value="24"/> 昼夜区分(時間) <input type="text" value="昼間12時間"/>		活荷重 <input type="text" value="T-12"/> 等級 <input type="text" value="2等橋"/> 緯度経度 起点側 緯度 <input type="text"/> 経度 <input type="text"/> 終点側 緯度 <input type="text"/> 経度 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 橋梁IDに、任意の文字列を出力する <input type="text"/>			
適用示方書 <input type="text" value="昭和24年 コンクリート標準示方書"/> <input type="text" value="昭和26年 コンクリート標準示方書"/>		最終点検年月日 <input type="text" value="2008年 7月31日"/> 調査更新年月日 <input checked="" type="radio"/> すべて同じ <input type="text" value="2009年 2月20日"/> <input type="radio"/> 個別設定 <input type="button" value="調査更新年月日個別設定..."/>			

## ■ 入力詳細

グループ	入力データ	データ形式
橋梁コード	橋梁コード	文字列
路線名	路線名	文字列
供用開始年	年月日	日付
橋梁名称	フリガナ	入力不可（橋梁名を変更する場合は管理プログラムで変更します。）
	漢字	
管轄	地方整備局名	文字列
	事務所名	文字列
	出張所名	文字列
所在地	自	文字列
	至	文字列
距離標	自	文字列
	至	文字列
交通条件	調査年	日付
	交通量（台）	数字
	大型混入率（%）	数字
	荷重制限（t）	数字
	昼夜区分（時間）	文字列（リストから選択/直接入力）
活荷重		文字列（リストから選択/直接入力）
等級		文字列（リストから選択/直接入力）
緯度経度（起点側）	緯度	数字
	経度	数字

グループ	入力データ	データ形式
緯度経度（終点側）	緯度	数字
	経度	数字
橋梁 ID に、任意の文字列を出力する		文字列
適用示方書		文字列（リストから選択/直接入力）
最終点検年月日		日付
調書更新年月日		日付

□ 「補足」

- ◆ 交通量（台）・・・大型車と一般車の合計値を入力します。
- ◆ 大型車混入率（%）・・・「0.\*\*」で入力します。
- ◆ 荷重制限（t）・・・単位は「t」です。
- ◆ 緯度経度・・・世界測地系で入力します。35° 15' 34" の場合、351534 と入力します。
- ◆ 橋梁 ID・・・起点側の緯度経度より自動作成します。「(起点側 緯度)，(起点側 経度)」となります。任意の文字列を入れたい場合のみ、チェックをつけて、文字列を入力します。
- ◆ 調書更新年月日・・・選択業務の点検要領が「国土交通省 平成 26 年版」の場合、調書の種類ごとに、更新年月日を指定することができます。

年月日設定の詳細は、「6.3 日付の登録について」を参照してください。

すべて同じ日付にする場合は、 **すべて同じ** を選択し、年月日を設定します。

調書ごとに変更する場合は、 **個別設定** を選択し、 ボタンをクリックします。以下のようなダイアログが表示されるので、各調書の更新年月日を設定してください。

調書名称	更新年月日
点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果	2009年 2月20日
点検調書(その2) 径間別一般図	2009年 2月20日
点検調書(その3) 現地状況写真	2009年 2月20日
点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	2009年 2月20日
点検調書(その5) 損傷図	2009年 2月20日
点検調書(その6) 損傷写真	2009年 2月20日
点検調書(その7) 損傷程度の評価記入表(主要部材)	2009年 2月20日
点検調書(その8) 損傷程度の評価記入表 (点検調書(その7)に記載以外の部材)	2009年 2月20日
点検調書(その9) 損傷程度の評価総括	2009年 2月20日
点検調書(その10) 対策区分判定結果(主要部材)	2009年 2月20日
点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の損傷)	2009年 2月20日

OK キャンセル

調書更新年月日設定ダイアログ（国土交通省 平成 26 年版）



## 5.5.3 橋梁諸元（その2）

橋長や幅員、形式などの諸元を入力します。

橋長・幅員		左側		右側	
橋長(m)	15.8	地覆幅(m)	0.6	地覆幅(m)	0.6
全幅員(m)	10.8	歩道幅(m)	1.5	歩道幅(m)	1.5
有効幅員(m)	9.6	車線幅(m)	3.1	車線幅(m)	3.1
中央帯(m)	0	車線数		車線数	
中央分離帯(m)	0.4				

形式	
上部構造形式	RCT桁橋
下部構造形式	逆T式/逆T式
基礎形式	不明

備考

操作方法は、「5.4.3 橋梁諸元（その2）」と同様です。

#### 5.5.4 一般図

橋梁の全体図と一般図を径間ごとに登録します。

■径間番号 : 1-0

全体図

ファイル名 : 橋視郎橋\_全体図.jpg

他の径間も同じ画像にする

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成26年版\全体図

一般図

ファイル名 : 橋視郎橋\_一般図.jpg

他の径間も同じ画像にする

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成26年版\一般図

操作方法は、「5.4.4 一般図」と同様です。

## 5.5.5 現地状況写真

現地で撮影した状況写真を登録します。

■径間番号 : 1-0

写真説明 文例登録(M)...

よく使う径 設定(U)...

写真番号 一括設定(N)...

撮影日 一括設定(P)...

他の径間と同じ 画像にする

現地状況写真

1 / 1

ページ追加(A)

ページ削除(D)

写真番号 1	撮影日 2008年 8月12日	写真番号 2	撮影日 2008年 8月12日
径間番号 1-0	径 4	径間番号 1-0	径 4
写真説明 路面状況	路面状況の写真	写真説明 側面状況その1	側面の写真
			
ファイル名 IMG_0055.jpg		ファイル名 IMG_0061.jpg	

写真番号 3	撮影日 2008年 8月12日	写真番号 4	撮影日 2008年 8月12日
径間番号 1-0	径 4	径間番号 1-0	径 4
写真説明 側面状況その2	側面の写真	写真説明 橋銘板	橋銘板の写真
			
ファイル名 IMG_0061.jpg		ファイル名 IMG_0052.jpg	

【保存場所】: C:\JIPTS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成26年版\2012点検\現地状況写真

操作方法は、「5.4.5 現地状況写真」と同様です。

## 5.5.6 番号図

番号図を登録します。

■径間番号 : 1-0

番号図

■番号図一覧

すべて削除(D)

No	図面内容	ファイル名	参照
1	橋視郎橋[径間1-0]	番号図_SP01-0_001.JPG	参照
2	橋視郎橋[径間1-0]	番号図_SP01-0_002.JPG	参照
3	橋視郎橋[径間1-0]	番号図_SP01-0_003.JPG	参照

UP

DOWN

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル2012平成26年版\番号図

操作方法は、「5.4.6 番号図」と同様です。

### 5.5.7 損傷図

損傷図を登録します。


[illegible]

操作方法は、「5.4.7 損傷図」と同様です。

### 5.5.8 損傷内容

変状図作成支援システムで作成した損傷内容を一覧で表示します。登録内容と一致しているかを確認してください。また、損傷内容に対して損傷写真を登録していると、その損傷写真を確認することができます。

■ 径間番号 : 1-0
■ フォトビュー : サンプル橋\_20030101\_92.jpg



損傷 番号	部材名称	要素 番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真 番号
				前回	今回	その1	その2			
1	横桁	0202	ひたひた	b	c	---	---	---	10	-
1	横桁	0203	ひたひた	b	c	---	---	---	10	-
1	横桁	0204	ひたひた	b	c	---	---	---	10	-
2	床版	0201	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	-
3	床版	0202	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	-
4	床版	0203	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	-
5	床版	0204	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	-
6	床版	0301	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	-
7	床版	0302	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	-
8	床版	0302	床版ひたひた	d	d	長さ0.5 m	幅0.2 mm	---	1	-
9	床版	0302	状況写真	---	a	---	---	---	---	1
10	床版	0303	床版ひたひた	b	b	---	---	---	1	2
11	床版	0303	床版ひたひた	d	d	長さ0.5 m	幅0.2 mm	---	1	-
12	床版	0401	床版ひたひた	c	c	---	---	---	1	-

操作方法は、「5.4.8 損傷内容」と同様です。

## 5.5.9 損傷写真

変状図作成支援システムで登録した損傷写真が表示されます。操作方法は、「5.4.9 損傷写真」と同様です。

## ■ 点検要領が平成 26 年版の場合

■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 横桁【0枚】 縦梁【0枚】 床版【0枚】 支保本座【0枚】 橋台【0枚】

並び替え(S)...

損傷番号	写真番号	要素番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	出力の有無
				前回	今回	その1	その2			
9	1	0302	状況写真	---	a	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
10	2	0303	床版ひたわれ	b	b	---	---	---	1	<input checked="" type="checkbox"/>
14	3	0404	床版ひたわれ	c	c	---	---	---	1	<input checked="" type="checkbox"/>
16	4	0501	剥離・鉄筋露出	d	e	面積:450×200 mm	面積:350×150 mm	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
20	5	0504	床版ひたわれ	b	b	---	---	---	1	<input checked="" type="checkbox"/>

選択した損傷写真の詳細情報

■プレビュー :  ■尺 :   
 ■撮影日 : 2008/07/31 09:36:12※

■ファイル名 : サンプル橋\_20080101\_29.jpg

## ■ 点検要領が平成 31 年版の場合

点検要領が平成 31 年版の場合のみ、径間ごとに「備考」を登録できます。

■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 横桁【0枚】 縦梁【0枚】 床版【0枚】 支保本座【0枚】 橋台【0枚】

並び替え(S)...

損傷番号	写真番号	要素番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	出力の有無
				前回	今回	その1	その2			
9	1	0302	状況写真	---	a	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
10	2	0303	床版ひたわれ	b	b	---	---	---	1,1	<input checked="" type="checkbox"/>
14	3	0404	床版ひたわれ	c	c	---	---	---	1,1	<input checked="" type="checkbox"/>
16	4	0501	剥離・鉄筋露出	d	e	面積:450×200 mm	面積:350×150 mm	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
20	5	0504	床版ひたわれ	b	b	---	---	---	1,1	<input checked="" type="checkbox"/>

■備考 :

選択した損傷写真の詳細情報

■プレビュー :  ■尺 :   
 ■撮影日 : 2008/07/31 09:36:12※

■ファイル名 : サンプル橋\_20080101\_29.jpg

## 5.5.10 損傷程度評価（主部材）

変状図作成支援システムで作成した主部材の損傷データの一覧が表示されます。

■径間番号 :

1-0

■部材区分 :

損傷

床版

橋台[胸壁]

並び替え(S)...

重複データチェック(C)

損傷 番号	要素 番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
1	0202	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0203	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0204	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。



## 5.5.11 損傷程度評価（二次部材）

変状図作成支援システムで作成した二次部材の損傷データの一覧が表示されます。

■ 径間番号 :
■ 部材区分 :

1-0

支保本体  
高橋  
地盤  
岩盤

並み替え(S)...

重複データチェック(C)

損傷 番号	要素 番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
21	0102	腐食	d	d	---	---	---	---	6	<input checked="" type="checkbox"/>
22	0102	防食機能の劣化	e	e	---	---	2	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>
21	0302	腐食	d	d	---	---	---	---	6	<input checked="" type="checkbox"/>
22	0302	防食機能の劣化	e	e	---	---	2	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>
21	0502	腐食	d	d	---	---	---	---	6	<input checked="" type="checkbox"/>
22	0502	防食機能の劣化	e	e	---	---	2	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。

## 5.5.12 損傷程度評価総括

損傷程度評価（主部材・二次部材）の総括を表示します。

■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 橋桁 橋梁 床版 橋台(胸壁) 護岸 高欄 地震

☐ 前2桁 ☒ 後2桁 ☐ 径間単位で評価する

並び替え(S)... 重複チェック(C)

損傷番号	要素番号	部材番号	損傷名称	損傷程度		詳細情報		分類	パターン	写真番号	出力の有無
				前回	今回	その1	その2				
1	0202	02	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0203	03	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>
1	0204	04	ひびわれ	b	c	---	---	---	⑩	-	<input checked="" type="checkbox"/>

操作方法は、「5.4.12 損傷程度評価総括」と同様です。

## 5.5.13 主部材

変状図作成支援システムで作成した損傷データから、対策区分判定の設定を行います。この画面では、主部材のみ表示されます。

診断データ初期化(D...) ※既存の診断データを全て削除し、点検データより診断元データを作成します。

部材選択  
 径間番号: 1-0 部材: 床版

点検データ一覧:

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	M		II
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	B		I
3	00	d	b	床版ひびわれ	E2		IV

※対策区分判定が“A”のデータは帳票に出力されません

原因(確定):  
 原因(推定):  
 所見:

一行Copy  
 Paste (Ctrl+V)

対策区分判定と健全度を除いた箇所の操作方法は、「5.4.12 損傷程度評価総括」と同様です。

## ■ 対策区分

各部材の損傷に対して、対策区分判定をリストから選択します。

対策区分判定

E2

M

- A ……損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
- B ……状況に応じて補修を行う必要がある。
- C1……予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
- C2……橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
- E1……橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
- E2……その他、緊急対応の必要性がある。
- M ……維持管理で対応する必要がある。
- S1……詳細調査の必要がある。
- S2……追跡調査の必要がある。

C2 と E1 を選択すると、更新が有効になります。対策をしていれば“○”を、対策をしていなければ、“－”を選択してください。

### ■ 健全度

各部材、各部材番号の損傷に対して、健全度をリストから選択します。

健全度	
II	▼
I	▼
IV	▼

- I ……道路橋の機能に支障が生じていない状態である。
- II ……道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。
- III ……道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。
- IV ……道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態である。

対策区分判定を選択すると、以下のルールで健全度が設定されます（対策判定区分を選択した後に、健全度を変更してください）。

対策判定区分	健全度
S1、S2	変更しない
A、B	I
C1、M	II
C2	III
E1、E2	IV

## 5.5.14 二次部材

変状図作成支援システムで作成した損傷データから、対策区分判定の設定を行います。この画面では、二次部材のみ表示されます。

## ■ 点検要領が平成 26 年版の場合

診断データ初期化(D...) ※既存の診断データを全て削除し、点検データより診断元データを作成します。

部材選択  
径間番号: 1-0 部材: 支承本体

点検データ一覧:

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	d	d	腐食	C1		II
2	00	e	e	防食機能の劣化	M		II

一行Copy  
Paste (Ctrl+V)

所見:

※対策区分判定が“A”のデータは帳票に出力されません

原因（確定および推定）の入力が無いことを除いて、操作方法は、「5.5.13 主部材」と同様です。

## ■ 点検要領が平成 31 年版の場合

診断データ初期化(D...) ※既存の診断データを全て削除し、点検データより診断元データを作成します。

部材選択  
径間番号: 1-0 部材: 支承本体

点検データ一覧:

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	d	d	腐食	M		II
2	00	e	e	防食機能の劣化	M		II

一行Copy  
Paste (Ctrl+V)

原因(確定):

原因(推定):

所見:


※対策区分判定が“A”のデータは帳票に出力されません

点検要領が平成 31 年版の場合は、二次部材も主部材と同様の項目を登録します。操作方法は、「5.5.13 主部材」と同様です。

## 5.5.15 健全性の診断に関する所見(平成31年3月版のみの機能)

変状図作成支援システムで作成した損傷データから、健全性の診断に関する所見の登録を行います。この画面は、点検要領が平成31年3月版の場合のみ表示されます。

**機能説明**

 径間ごとと部材ごとに損傷写真が登録されている部材が「点検データ一覧」に、それら部材に関連付く写真が、写真一覧に表示されます。写真を右クリックすると表示されるメニューから、「健全性の診断に関する所見」に出力する写真を選択します。




**部材選択**

径間番号:  部材:

**点検データ一覧:**

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分		健全度		登録枚数	出力枚数
		前回	今回		前回	今回	前回	今回		
1	00	---	a	その他(任意)	-	-	I	II	1	1
2	00	b	d	床版ひびわれ	E1	E2	III	IV	2	1
3	00	d	e	剥離・鉄筋露出	S1	S2	I	II	1	1

写真一覧:

所見:

## ■ 径間番号

リストから、出力する写真を選択したい径間を選択します。

■径間番号:

## ■ 部材

選択した径間番号に登録されている部材が表示されます。出力する写真を選択したい部材を選択します。

部材:

### ■ 点検データ一覧

部材選択欄で選択した部材に登録される損傷とその損傷写真が表示されます。一覧表から対策区分と健全度を登録します。

#### □ 対策区分

対策区分	
前回	今回
-	-
E1	E2
S1	S2

- A …… 損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
- B …… 状況に応じて補修を行う必要がある。
- C1 …… 予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
- C2 …… 橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
- E1 …… 橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
- E2 …… その他、緊急対応の必要性がある。
- M …… 維持管理で対応する必要がある。
- S1 …… 詳細調査の必要がある。
- S2 …… 追跡調査の必要がある。

#### □ 健全度

健全度	
前回	今回
I	II
III	IV
I	II

- I …… 道路橋の機能に支障が生じていない状態である。
- II …… 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。
- III …… 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。
- IV …… 道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態である。

#### □ 出力写真の選択

一覧表で選択した部材の損傷写真が一覧で表示されます。選択中の損傷に関連付く写真は背景色が青色で表示されます。写真を右クリックすると表示されるメニューから、出力するかどうかを選択します。出力枚数が2枚以上の場合、先頭から2枚のみ出力されます。

点検データ一覧：

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分		健全度		登録枚数	出力枚数
		前回	今回		前回	今回	前回	今回		
1	00	---	a	その他(任意)	-	-	I	II	1	1
2	00	b	d	床版ひびわれ	E1	E2	III	IV	2	2
3	00	d	e	剥離・鉄筋露出	S1	S2	I	II	1	1

右クリック

クリック



点検調査出力

サンプル橋\_20030101\_32.jpg

サンプル橋\_20030101\_37.jpg

サンプル橋\_20030101\_39.jpg

写真一覧では、点検調書に出力される写真の背景色は濃い青で、出力されない写真は薄い青で表示されます。また、出力可能な写真は、1つの損傷につき2枚までです。

出力対象の写真	出力されない写真
 サンプル橋_20030101_37.jpg	 サンプル橋_20030101_39.jpg

□ 所見

表示させる部材は、変状図作成支援システムで設定した部材表示順となります。

所見	:	<div></div>
----	---	-------------



## 5. 詳細説明

#### 5.5.16 状態把握の方法(平成31年3月版のみの機能)

状態把握の方法の登録を行います。この画面は、点検要領が平成 31 年 3 月版の場合のみ表示されます。

**■径間番号** : 1-0

---

健全性の診断のための支援

すべて削除(D)

No	部材名	部材 番号	要素 番号	理由	対応策・機器などの性能や条件
----	-----	----------	----------	----	----------------

↑  
UP  
  
↓  
DOWN

---

記録のための支援

すべて削除(D)

No	部材名	部材 番号	要素 番号	理由	対応策・機器などの性能や条件
----	-----	----------	----------	----	----------------

↑  
UP  
  
↓  
DOWN


■ 径間番号

リストから、状態把握の方法を登録したい径間を選択します。

■径間番号 : 1-0 ▼


## ■ 健全性の診断のための支援





 ボタンをクリックすると、出力行を追加することができます。追加された行のセルをクリックすると、出力データを編集できます。

No	部材名	部材番号	要修番号	理由	対応策・機器などの性能や条件
1					
2					

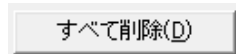


 ボタンをクリックすると、選択中の出力行を消すことができます。



  ボタンをクリックすると、出力順が入れ替えられます。





ボタンを押すと、選択している径間に登録されたの健全性の診断のための支援データを消すことができます。

#### ■ 記録のための支援



ボタンをクリックすると、出力行を追加することができます。追加された行のセルをクリックすると、出力データを編集できます。

No	部材名	部材番号	要素番号	理由	対応策・機器などの性能や条件
1					
2					



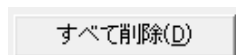
ボタンをクリックすると、選択中の出力行を消すことができます。



DOWN



ボタンをクリックすると、出力順が入れ替えられます。



ボタンを押すと、選択している径間に登録されたの記録のための支援データを消すことができます。

## 5.5.17 総合検査結果

点検年月日、総合検査結果、橋全体の健全度、橋梁診断員を登録します。

## □ 点検要領が平成 26 年版の場合

点検年月日 : (自) 2008年 7月31日 ~ (至) 2009年 8月26日  
 : (前回) 不明  
 点検種別 : 定期点検 健全度 : IV  
 総合検査結果 : ※30行程度に収まるように入力してください。

本橋は、竣工後7年が経過しており、下部工において、アルカリ骨材反応が疑われる網目状のひびわれが確認されたことから、アルカリ骨材反応に関する詳細調査を実施する必要がある。  
 なお、ひびわれ幅は小さく、判定区分は「損傷が軽微で補修を行う必要がない」に相当するJ程度である。

※266Byte入力されています。

## □ 点検要領が平成 31 年版の場合

点検年月日 : (自) 2008年 7月31日 ~ (至) 2009年 8月26日  
 : (前回) 2020年 9月 4日  
 点検種別 : 定期点検 健全度 : 橋梁診断員 :  
 総合検査結果 : ※30行程度に収まるように入力してください。

本橋は、竣工後7年が経過しており、下部工において、アルカリ骨材反応が疑われる網目状のひびわれが確認されたことから、アルカリ骨材反応に関する詳細調査を実施する必要がある。  
 なお、ひびわれ幅は小さく、判定区分は「損傷が軽微で補修を行う必要がない」に相当するJ程度である。

※265Byte入力されています。

健全度と橋梁診断員を除いた項目の操作方法は、「5.4.15 総合検査結果」と同様です。

### ■ 健全度

橋全体の損傷に対して、健全度をリストから選択します。初期値は「5.4.13 主部材」で入力した主部材の健全度から最悪値が設定されます。



- I ……道路橋の機能に支障が生じていない状態である。
- II ……道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。
- III ……道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。
- IV ……道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態である。

## 5.5.18 措置図

変状図作成支援システムで作成した措置図を登録します。

■径間番号 : 1-0

措置図

■措置図一覧

すべて削除(D)

No	図面内容	ファイル名	参照
1	M1SD0010	M1SD0010.JPG	参照
2	M4SD0010	M4SD0010.JPG	参照
3	MxSD0010	MxSD0010.JPG	参照
4	M2SD0010	M2SD0010.JPG	参照
5	M2SD0020	M2SD0020.JPG	参照

UP

DOWN

【上流側】

61側

62側

63側

64側

65側

66側

【下流側】

断面 0501  
: C (45.0×20.0cm/25.0×15.0cm)  
写真番号:

図 説	図 号
透すじ網及び透すじ網で透すじなし	(A1)
透すじ網	(A2)
透すじなし	(A3)
透すじなし	(A4)
透すじなし	(A5)
透すじなし	(A6)
透すじなし	(A7)
透すじなし	(A8)
透すじなし	(A9)
透すじなし	(A10)

【保存場所】: C:\JIPITS\PrjData\橋視郎サンプル\2012平成26年版\2012\_点検\第三者被害\変状図

操作方法は、「5.4.7 損傷図」と同様です。


### 5.5.19 措置内容

変状図作成支援システムで作成した措置内容の一覧で表示します。登録内容と一致しているかを確認してください。また、措置内容に対して措置写真を登録していると、その措置写真を確認することができます。

■経間番号 :

1-0

■プレビュー :



サンプル橋\_20030101\_39.jpg

措置 番号	部材名称	要素 番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	ハザード	写真 番号
				前回	今回	その1	その2			
1	床版	0501	---		C	面積:45.0×2...	面積:35.0×1...	---	---	1
2	主桁	0101	---		A1	---	---	---	---	-
3	主桁	0102	---		A1	---	---	---	---	-
4	主桁	0103	---		A1	---	---	---	---	-
5	主桁	0104	---		A1	---	---	---	---	-
6	主桁	0201	---		A1	---	---	---	---	-
7	主桁	0202	---		A1	---	---	---	---	-
8	主桁	0203	---		A1	---	---	---	---	-
9	主桁	0204	---		A1	---	---	---	---	-
10	主桁	0301	---		A1	---	---	---	---	-
11	主桁	0302	---		A1	---	---	---	---	-
12	主桁	0303	---		A1	---	---	---	---	-
13	主桁	0304	---		A1	---	---	---	---	-
14	主桁	0401	---		A1	---	---	---	---	-

操作方法は、「5.4.8 損傷内容」と同様です。

## 5.5.20 措置写真


変状図作成支援システムで登録した措置写真が表示されます。


■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 床版【1枚】 橋台【胸壁】【0枚】 主桁【0枚】 高欄【0枚】 橋桁【0枚】 地盤【0枚】 橋台【堅壁】【0枚】

並び替え(S)...

措置番号	写真番号	要素番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	パターン	出力の有無
				前回	今回	その1	その2			
1	3	0101	---		B	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
2	2	0101	---		A2	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>
3	4	0201	---		A2	---	---	---	---	<input checked="" type="checkbox"/>

選択した損傷写真の詳細情報

■プレビュー : 

■元 : 

■撮影日 : 2009/08/26 09:36:12※

■ファイル名 : サンプル橋\_20090101\_33.jpg

操作方法は、「5.4.9 損傷写真」と同様です。

## 5.5.21 措置判定区分（主部材）

変状図作成支援システムで作成した主部材の措置データの一覧が表示されます。

■径間番号 : 1-0 ■部材区分 : 橋台[胸壁]  
主桁  
橋台[堅壁]

並び替え(S)... 重複データチェック(C)

措置 番号	要素 番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	パターン	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
1	0501	---		C	面積:45.0×20.0 cm	面積:35.0×15.0 cm	---	---	1	✓
42	0101	---		A2	---	---	---	---	-	✓
43	0201	---		A2	---	---	---	---	-	✓
44	0202	---		A2	---	---	---	---	-	✓
45	0203	---		A2	---	---	---	---	-	✓
46	0204	---		A2	---	---	---	---	-	✓
47	0301	---		A2	---	---	---	---	-	✓
48	0302	---		A2	---	---	---	---	-	✓
49	0303	---		A2	---	---	---	---	-	✓
50	0304	---		A2	---	---	---	---	-	✓
51	0401	---		A2	---	---	---	---	-	✓
52	0402	---		A2	---	---	---	---	-	✓
53	0403	---		A2	---	---	---	---	-	✓
54	0404	---		A2	---	---	---	---	-	✓
55	0501	---		A2	---	---	---	---	-	✓
56	0502	---		A2	---	---	---	---	-	✓
57	0503	---		A2	---	---	---	---	-	✓

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。



## 5.5.22 措置判定区分（二次部材）

変状図作成支援システムで作成した二次部材の措置データの一覧が表示されます。

■径間番号 :

1-0

■部材区分 :

高床  
地盤

並び替え(S)...

重複データチェック(C)

措置 番号	要素 番号	損傷名称	損傷判定区分		詳細情報		分類	パターン	写真 番号	出力の 有無
			前回	今回	その1	その2				
1	0201	---		C	面積0.58 m2	---	---	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>
2	0101	---		B	面積0.54 m2	---	---	---	-	<input checked="" type="checkbox"/>

操作方法は、「5.4.10 損傷程度評価（主部材）」と同様です。

## 5.5.23 帳票出力

帳票を出力する画面です。出力する帳票の種類を選択し、Excel ファイルに出力します。

■ 点検要領が平成 26 年版の場合

操作方法は、「5.4.21 帳票出力」と同様です。ただし、ファイル形式は、Microsoft Excel 形式のみです。

橋梁名 :	橋視郎橋	業務年度 :	2016 年度
業務名 :	橋視郎橋の点検業務	点検要領 :	国土交通省 平成26年版
		<input checked="" type="radio"/> 定期点検データ <input type="radio"/> 第三者被害予防措置データ	

帳票出力項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その2) 径間別一般図 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その3) 現地状況写真 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その5) 損傷図 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その6) 損傷写真 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その7) 損傷程度の評価記入表(主要部材) <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その8) 損傷程度の評価記入表 (点検調書(その7)に記載以外の部材) <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その9) 損傷程度の評価総括 <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その10) 対策区分判定結果(主要部材) <input checked="" type="checkbox"/> 点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の損傷)	<input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 <input type="checkbox"/> 圧縮 
<input checked="" type="checkbox"/> すべてチェック <input type="checkbox"/> すべてクリア	

帳票出力範囲	出力オプション
<input checked="" type="radio"/> 全径間 <input type="radio"/> 径間指定	<input type="checkbox"/> 写真番号の表記を指定した桁数まで先頭を0で埋める (例) 1,2,123 <input type="checkbox"/> 径間分割番号"0"の場合,"0"を表示する (例) 1-0, 2-1, 2-2, 2-3, 3-0 径間分割番号"0"を表示 【チェックOn】 (例) 1, 2-1, 2-2, 2-3, 3 径間分割番号"0"の非表示 【チェックOff】 <input checked="" type="checkbox"/> 損傷未登録要素番号のデータを出力する <input type="button" value="リンクで出力"/>
	<input type="button" value="既定値として設定(D)..."/>

出力ファイル	
ファイル形式 :	<input checked="" type="radio"/> Microsoft Excel形式
ファイル名 :	橋視郎橋.xlsx
出力先 :	C:\JIPITS\橋視郎\PrjData\vevege\2016_点検\帳票

### ■ 点検要領が平成 31 年版の場合

損傷未登録要素番号のデータに対する設定以外の操作方法は、「5. 4. 21 帳票出力」と同様です。  
ただし、ファイル形式は、Microsoft Excel 形式のみです。

損傷未登録要素番号のデータは、損傷名と判定区分を登録できます。

#### ● 損傷名

損傷名称を、空白とするか NON と出力するかを選択できます。

#### ● 判定区分

損傷の判定区分を選択できます。出力する判定区分は、a、b、c、d、e、x、y、zの中から選択できます。

- 「様式 3 のメモ欄に“写真説明”と“メモ”の両方を出力する」にチェックをいれた場合、通常は“メモ”のみ出力しますが、“写真説明”を文頭に挿入します。
- 「様式 11, 12 に記録のない損傷を a 評価で出力する」にチェックをいれた場合、橋梁定期点検要領で点検対象とされている損傷のいずれかが評価されている場合、橋梁定期点検要領で点検対象とされている損傷のうち未登録の損傷を、a 評価として出力します。その際、「⑰その他」に関しては出力有無を設定できます。
- 「様式 13 に a 評価を出力しない」にチェックを入れた場合、様式 13 において「a」評価の損傷を出力しません。

## 6. その他共通事項

### 6.1 表入力機能

橋視郎では、いくつかの入力画面において、表形式での入力を必要とします。

表入力では、以下の様な操作をすることで入力作業の負荷を軽減することができます。ここでは、簡単な例を挙げて、表操作について説明します。

#### ■ カーソル移動

カーソルキーで上下左右に移動できます。また、**Enter**キーで次のセルに移動します。

#### ■ 行（列）選択

ヘッダをクリックすると、その行（列）が反転し選択状態になります。

クリック

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	○	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	-	III

行選択

クリック

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	○	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	-	III

列選択

#### ■ 複数セル、行、列選択

セルまたは行または列をクリックした後、**Shift**キーを押しながら、別のセルまたは行または列をクリックすると、その範囲のセルが選択されます。

① クリック

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	○	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	-	III

② Shift+クリック

**Ctrl**キーを押しながら、セルまたは行または列をクリックすると、不連続のセルまたは行または列が選択できます。**Ctrl**キーを使用した場合、最後にクリックしたセルがアクティブセルになります。

① クリック

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	○	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	-	III

② Ctrl+クリック

### ■ 表全体選択

表の左上をクリックすると表全体が反転表示され、選択状態となります。

クリック

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	○	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	-	III

### ■ コピー

コピーしたいセルにカーソルを置き **Ctrl**+**C** を押すと、カーソル位置の値をコピーします。  
複数選択状態（行または列選択時も含む）では、選択されたセルすべての値をコピーします。

### ■ 貼り付け

貼り付けたいセルにカーソルを置き、**Ctrl**+**V** で事前にコピーした値を貼り付けます。事前に複数のセル（行または列コピーを含む）をコピーしている場合はカーソル位置を基準に、以降すべてのセルにコピーされた値が貼り付けられます。

### ■ 同値コピー

行（列）を選択した状態、または複数選択状態で、**Ctrl**+**Enter** を押すと、カーソル位置（複数選択されたセルの中で1つだけ反転表示されていない個所）の値が、他の選択されているセルすべてにコピー・貼り付けがされます。

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	-	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	-	III

Ctrl+Enter

No	部材番号	損傷程度		損傷種類	対策区分判定	更新	健全度
		最大	最小				
1	00	e	e	剥離・鉄筋露出	E1	○	IV
2	00	e	e	漏水・遊離石灰	E1	○	IV
3	00	d	b	床版ひびわれ	C2	○	III

## 6.2 画像ファイルの登録方法

帳票作成支援システムでは、一般図や現況写真など、画像を登録する画面があります。どの画面でも、同様の方法で登録することができます。

登録できる画像のファイル形式は JPG のみです。

(拡張子が JPG または JPEG ※大文字・小文字の区別はありません)

### 6.2.1 ファイル選択ダイアログから登録する方法

ファイル名を表示するテキストボックスの右に配置された **...** ボタンや **参照** ボタンをクリックすることで、ファイルの選択ダイアログが開きます。

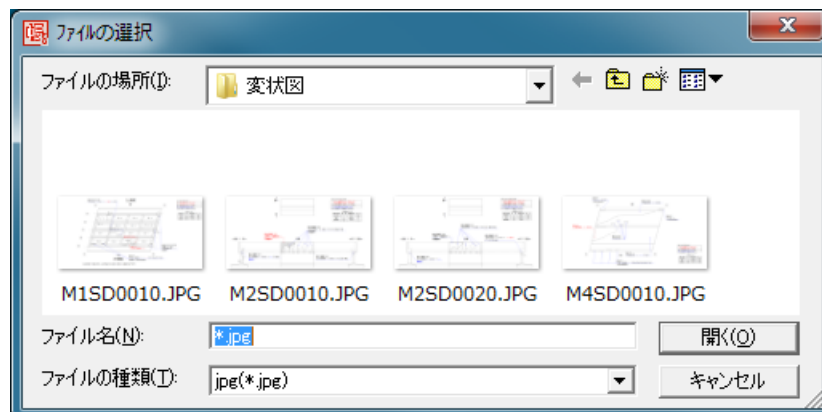
一般図画面、現地状況写真画面など

ファイル名 :  **...**

番号図画面、損傷図画面など

5			<b>参照</b>
---	--	--	-----------

ファイルの選択ダイアログでファイルを選択して、開くボタンをクリックしてください。

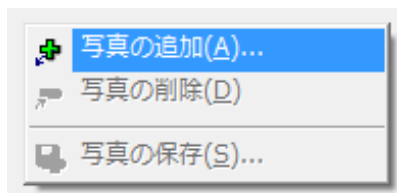


※橋視郎では、写真ファイルの配置場所を限定しています。

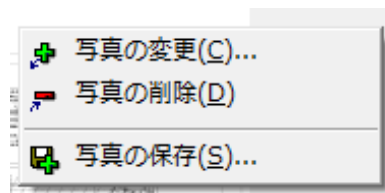
エクスプローラーで指定フォルダへ画像ファイルをコピーしてから選択してください。

### 6.2.2 マウスの右クリックから登録する方法

画像を表示する領域内で、マウスの右クリックをすると、以下のようなメニューが表示されます。



画像が登録されていない場合



画像がすでに登録されている場合

「写真の追加」および「写真の変更」を選択すると、ファイルの選択ダイアログが開きます。ファイルの選択ダイアログでファイルを選択して、開くボタンをクリックしてください。

#### ■ 写真の削除

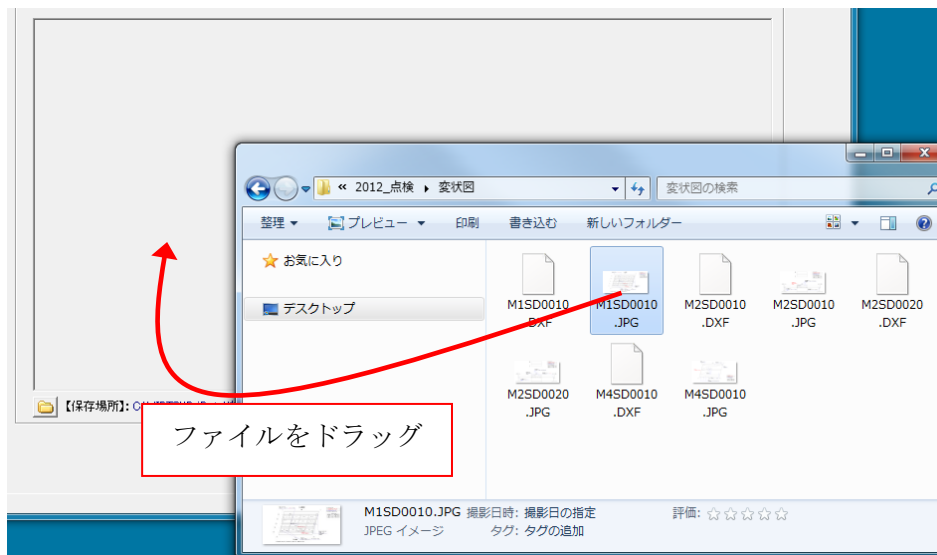
写真の削除を選択すると、画像データの登録を消すことができます。ただし、保存場所のフォルダ内のファイルは削除しません。

#### ■ 写真の保存

写真の保存を選択すると、現在登録されている画像を、別のローカルフォルダに保存することができます。保存先フォルダ選択ダイアログが開きます。保存先を指定して[OK]ボタンをクリックしてください。

### 6.2.3 ドラッグ&ドロップで登録する方法

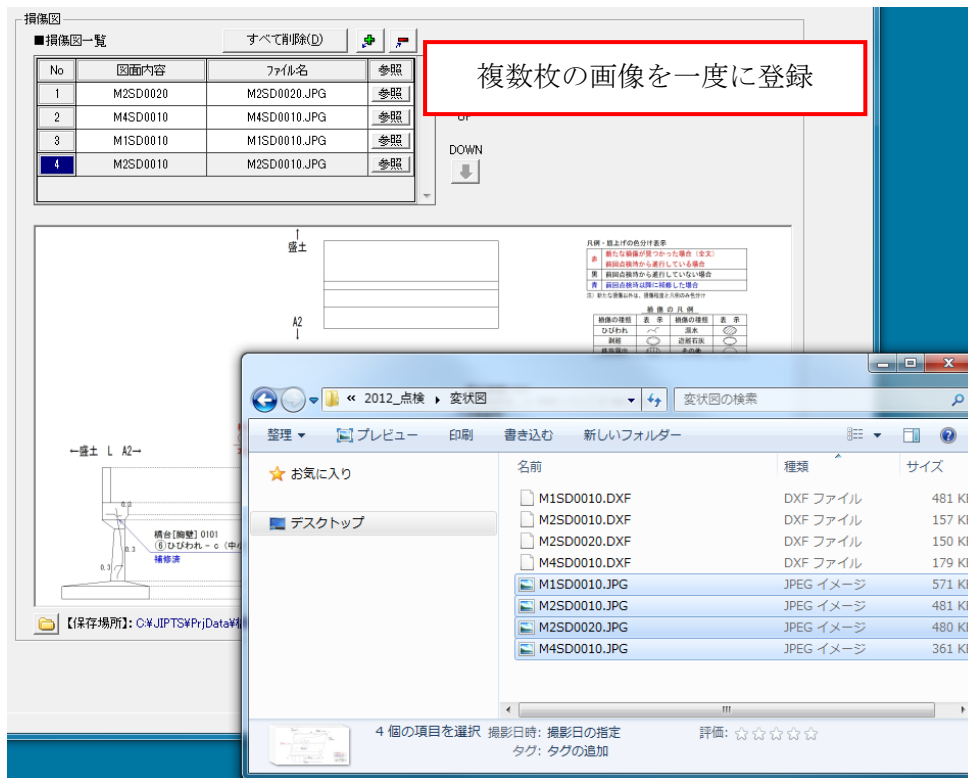
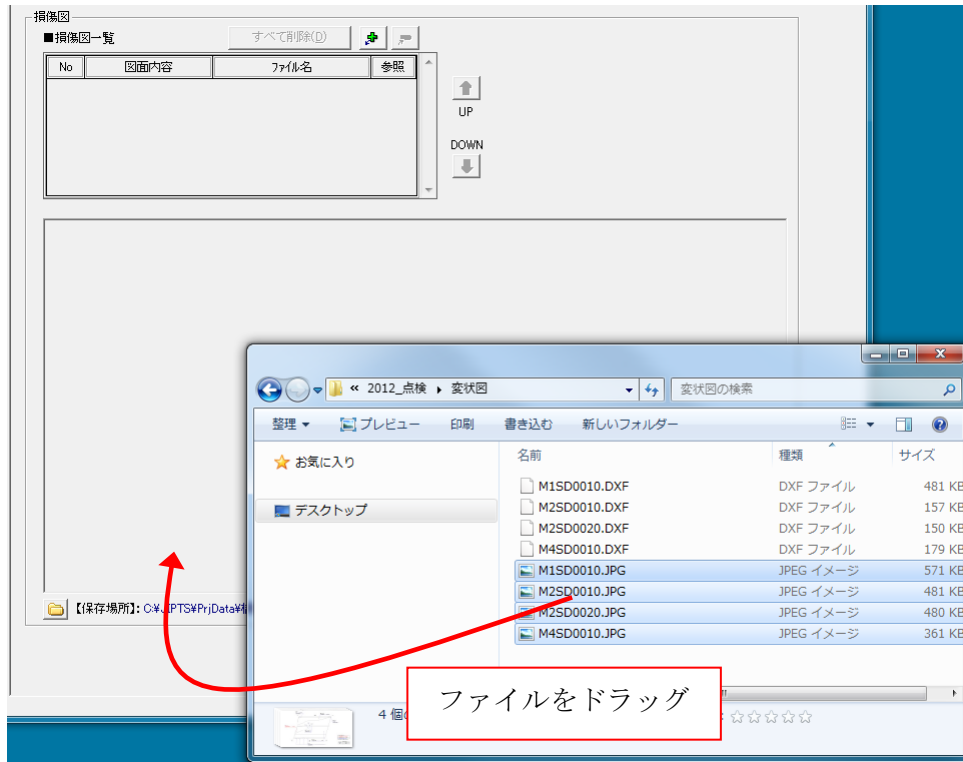
エクスプローラーから、画像データをドラッグ&ドロップすることで、画像を登録することも可能です。この時、ドラッグされたファイルは、所定のフォルダへコピーされるので、どのフォルダからでも登録が可能です。





## 6. その他共通事項

通常は、1 枚ずつしか登録できませんが、番号図の画面、損傷図の画面では、複数枚のドラッグ & ドロップの登録に対応しています。



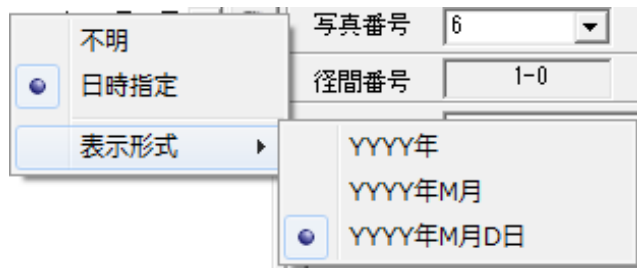
**注意**

既定フォルダ以外にあるファイルをドラッグ&ドロップすると自動で既定フォルダにファイルがコピーされます。しかし、既定フォルダに同一名称のファイルがあるときには強制上書きされますので注意してください。

### 6.3 日付の登録について

#### 6.3.1 表示形式を変更

入力範囲を右クリックすると、以下のようなメニューが表示されます。



表示形式には、以下の3種類があります。

◆ YYYY 年

西暦で4桁の年の情報のみ登録します。

2010年 ▼

◆ YYYY 年 M 月

西暦で4桁の年、2桁の月の情報まで登録します。

2010年11月 ▼

◆ YYYY 年 M 月 D 日

西暦で4桁の年、2桁の月、2桁の日の情報を登録します。

2010年11月11日 ▼

各画面では、帳票に合わせて初期値を定めていますが、ユーザーが自由に変更できます。  
また、メニューの「不明」を選択すると、日付を入力せず「不明」と登録することができます。

不明 ▼

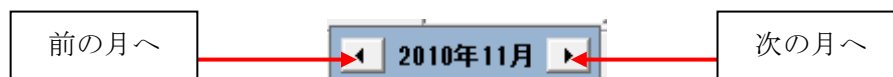
#### 6.3.2 カレンダーの使い方

入力欄の ▼ ボタンをクリックすると、以下のようなカレンダーが開きます。カレンダーには、現在設定されている日付と、今日の日付が表示されます。

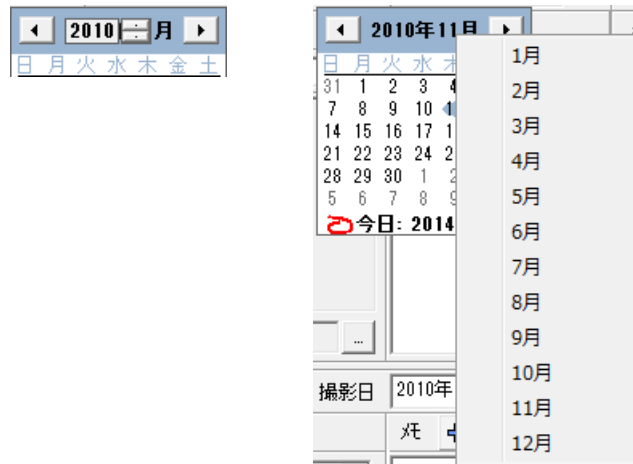


カレンダー上の日付をクリックすると、その日付がデータにセットされます。

また、年月の左右のボタンをクリックすると、前の月または次の月にカレンダーに移動します。

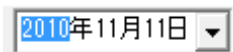


年をクリックすると、それぞれスピンリストから設定を変更でき、月をクリックすると 1～12 月の中から選択できます。



### 6.3.3 直接入力で登録

マウスを使わずに、キーボードで直接日付を登録することもできます。年、月、日で入力枠が区切られているのを除けば、通常のエディットボックスと同様に入力できます。また、上下キーで数値を 1 ずつシフトすることも可能です。



### 6.3.4 今日へ移動

日付を変更している状態で、今日の日付へ戻したい時には、以下のどちらかの操作を行います。

#### ◆ 今日の日付をクリック

カレンダーの下部に表示されている今日の日付をクリックすると、今日の日付がセットされます。



#### ◆ 右クリックメニューで、今日へ移動を選択

カレンダー上で右クリックをすると、「今日へ移動 (G)」メニューが表示され、それをクリックすると今日の日付がセットされます。



## 6.4 画面上に表示される警告メッセージ・ボタンについて

### 6.4.1 登録する文字列のタブ文字について


橋視郎では、画面上からタブ文字の入力はできないようになっています。しかし、Excel や Word などのソフトからコピーしてデータを貼り付けるとタブ文字が意図せず登録されてしまうことがあります。

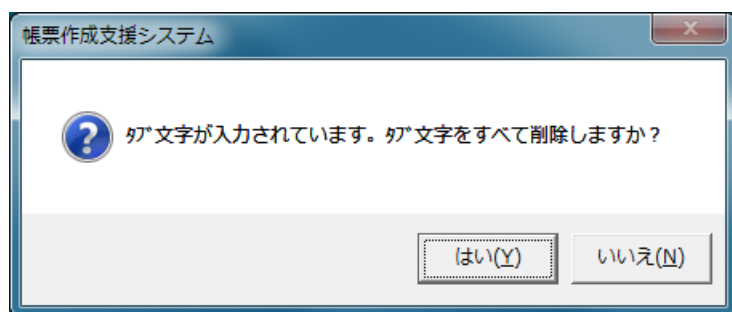
タブ文字は、Word で出力するときには帳票の出力欄にデータが収まり切らなくなる原因となります。別ソフトからコピーしてデータを貼り付けることが多い、以下の箇所にはタブ文字のチェックする機能が付いています。

- [諸元データ]-[橋梁諸元（その2）]画面 備考
- [諸元データ]-[現地状況写真]画面 メモ ※国土交通省 平成 16 年版および平成 26 年版
- [対策判定データ]-[主部材]画面 所見 ※国土交通省 平成 16 年版および平成 26 年版
- [対策判定データ]-[二次部材]画面 所見 ※国土交通省 平成 16 年版および平成 26 年版
- [総合検査結果]画面 総合検査結果 ※国土交通省 平成 16 年版および平成 26 年版

上記の項目にタブ文字が入っていると画面上に警告ボタンが表示されます。



 ボタンをクリックするとタブ文字を削除するかを確認するメッセージが表示されます。[はい(Y)] をクリックすると入力されているデータからタブ文字を削除（複数ある場合はすべてのタブ文字）されます。



#### 6.4.2 ステータスバーの警告メッセージについて

データ作成をしているときに、ステータスバーに以下のようなメッセージが表示されることがあります。

13	床版ひびわれ	b	b	---	---	---	1	2
13	床版ひびわれ	d	d	長さ0.5 m	幅0.2 mm	---	1	-
11	床版ひびわれ	c	c	---	---	---	1	-

【警告】変状図作成支援システムでデータが更新されています!!								
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

これは、変状図作成支援システムで点検データが後から編集されたときに表示されるものです。このメッセージが表示されたときは、変状図作成支援システムで登録する点検データが、現在本システムに取り込まれているデータより新しくなっていることを示しています。プロジェクト設定画面で、管理ファイル再読込（「5.3.1 プロジェクト設定」または「5.4.1 プロジェクト設定」）をするようにしてください。

再読み込みをしないで、本システムで上書き保存をすると、古いデータの状態で帳票を作成することになります。

## 7. サポート

### ■ 橋視郎に関するお問い合わせ

下記のお問い合わせフォームよりお願いいたします。

URL : <https://www.jip-ts.co.jp/contact/support.html>

### ■ バージョンアップ

将来、関連する要領・基準の改訂に伴うツールのメジャーバージョンアップ時は、有償にて新規バージョンを提供させて頂く場合がございます。

- ◆ 本プログラム及び本書は、無断で複製することはできません。
- ◆ 本プログラム及び本書の内容は予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

きょうしろう  
**橋視郎**  
～ 橋梁点検支援システム ～

## 操作マニュアル

平成 16年 9月 7日 初 版 発行  
令和 3年 5月 20日 第52版 発行

JIPテクノサイエンス株式会社

お問い合わせ先

<https://www.jip-ts.co.jp/contact/support.html>